



OFFICIAL PROGRAM



SUGO ROAD RACE

'98全日本ロードレース選手権第2戦SUGO大会

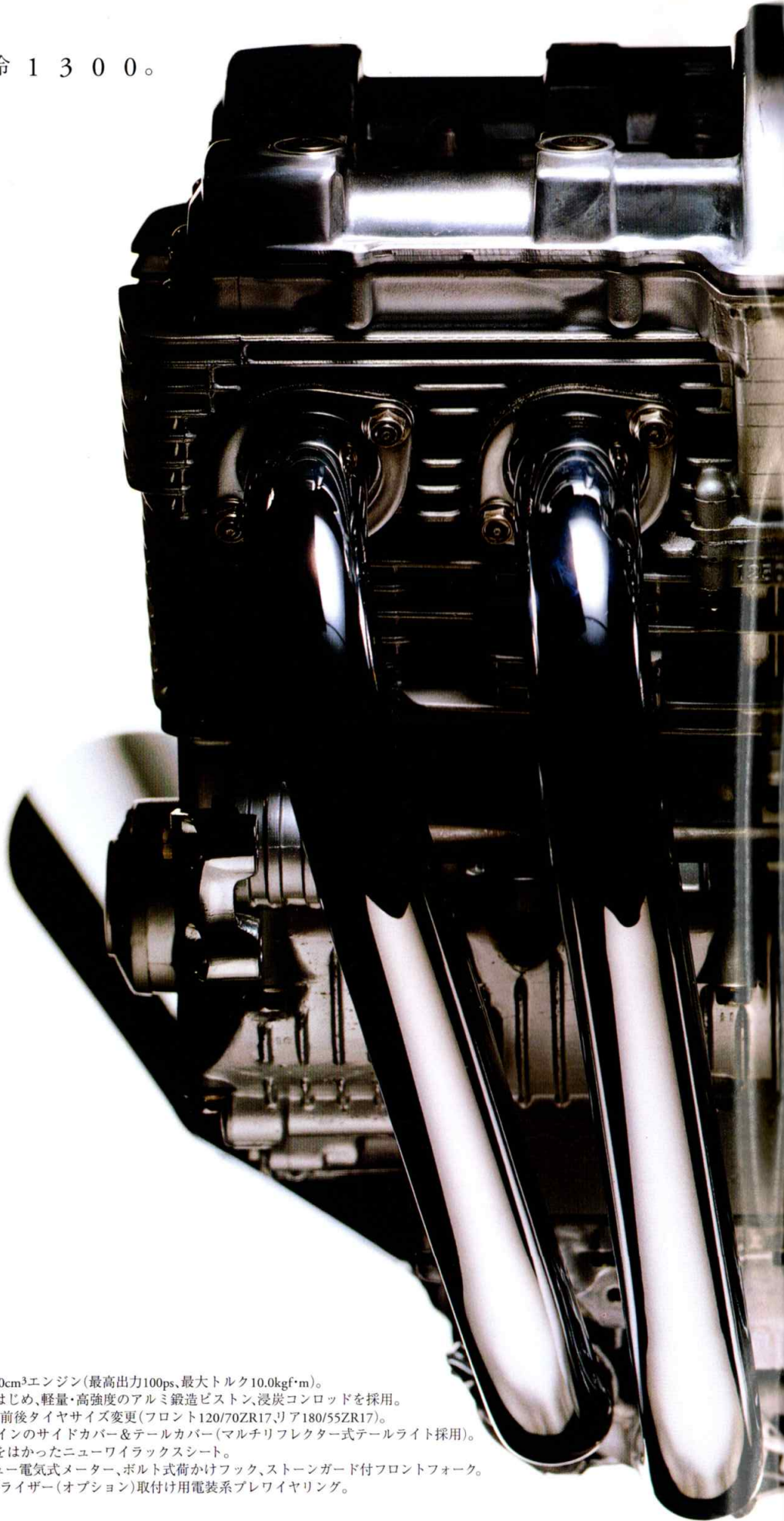
SAT予選 SUN決勝
4/25-26



SUPERBIKE/GP125/GP250
SP250/ST150

主催 スポーツランドSUGO
公認 (財)日本モーターサイクルスポーツ協会
開催場所 SUGOインターナショナルレーシングコース

心の乾きを満たす、空冷1300。



空冷神化。XJR1300

- 空冷ネイキッド最大排気量を誇る1,250cm³エンジン(最高出力100ps、最大トルク10.0kgf・m)。
- 空冷マルチ初のメッキシリンダーをはじめ、軽量・高強度のアルミ鍛造ピストン、浸炭コンロッドを採用。
- 走行性能のさらなる進化、重量軽減と前後タイヤサイズ変更(フロント120/70ZR17、リア180/55ZR17)。
- ダイナミックに進化した、ニューデザインのサイドカバー&テールカバー(マルチリフレクター式テールライト採用)。
- 快適な走りをサポート、シート高低減をはかったニューワイラックスシート。
- ツイントリップ&時計液晶表示のニュー電気式メーター、ボルト式荷かけフック、ストーンガード付フロントフォーク。
- 先進の盗難抑止装置アラーム・イモバイザー(オプション)取付け用電装系プレワイヤリング。

YAMAHA
5.9%
5/31まで
キャンペーン

低金利
5.9%
クレジット

キャンペーン実施中
5/31日までにキャンペーン協賛店で
ヤマハバイクの購入が200cc
以上の新車を購入され、30万円以上
のヤマハバイククレジットを組まれた方
には、実質年率5.9%の金利を適用
いたします。詳しくはこのマークのある
キャンペーン協賛店までお立ち寄りください。

●価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄及び一部地域を除く) ●価格は参考価格です。 ●価格には保険料・税金(含む消費税)・登録に伴う諸費用は含まれていません。 ●消費税は別途計算のうえ申し受けます。

バイクにフレンドシップ
見られるためのライトオン

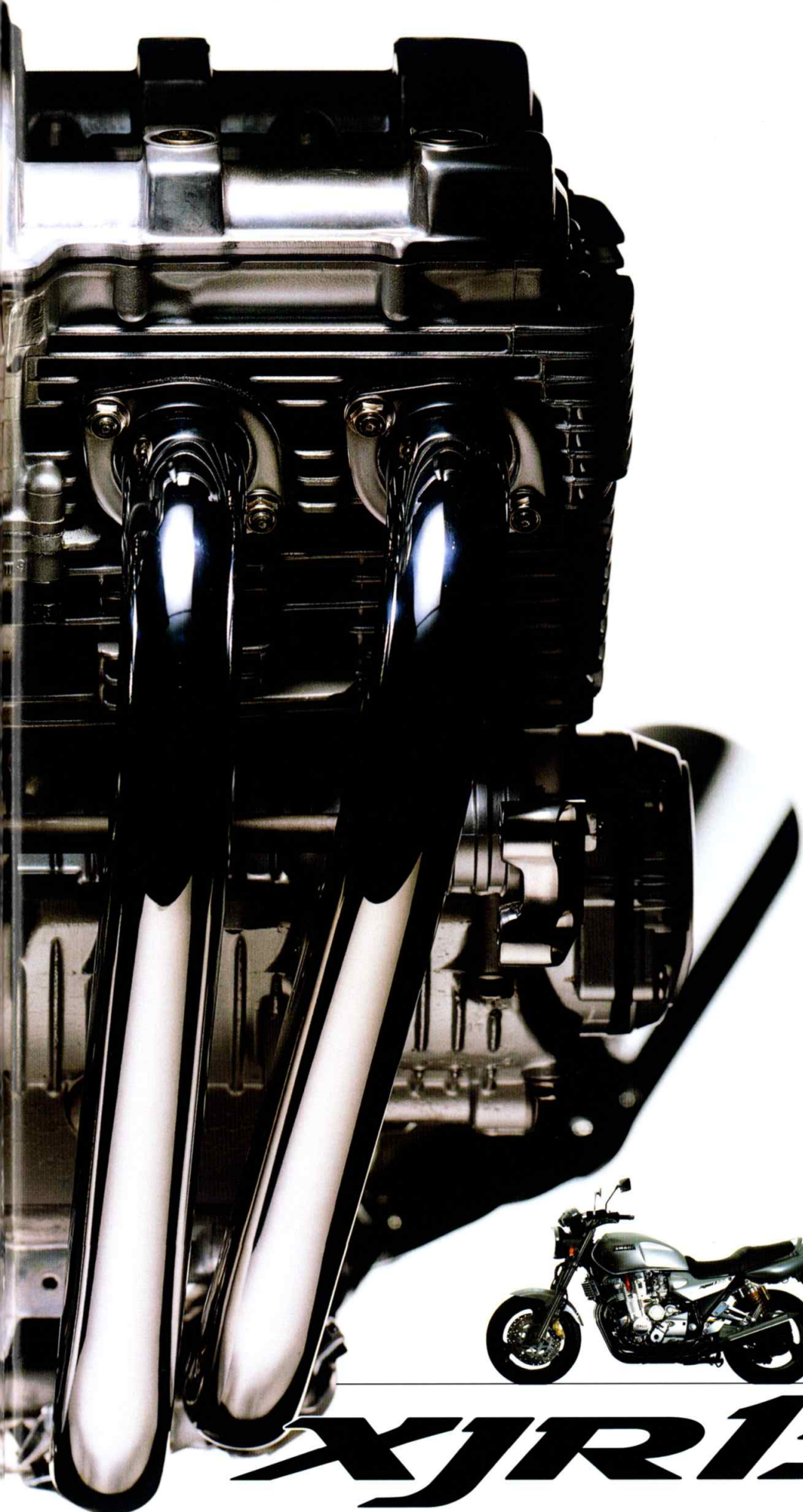
今こそ、^(16歳から)
取得出来ます
普通二輪免許!
ご前回は任意の二輪免許店へ

- 大型二輪免許への移行がスムーズ
→ 技能教習(最短)12時間、学科試験免除。
- 普通(四輪)免許への移行もスムーズ
→ 学科試験免除。

●ヤマハモーターサイクルに関するお問い合わせは、下記のお客さま相談室へ。

お客さま相談室 ☎0120-090-819

●カタログご希望の方は、機種名・雑誌名と住所・氏名・年齢・職業を明記し、
郵送料として郵便切手160円分を同封の上、下記へお申し込みください。
〒438-8501静岡県静岡市新見2500ヤマハ発動機株式会社広報室広報グループカタログ課



MODEL TYPE: RP01J
 ENGINE TYPE: AIR COOLED DOHC
 4 VALVE INLINE 4
 DISPLACEMENT: 1,250 cm³
 MAX. POWER: 100 ps / 8,000 rpm
 MAX. TORQUE: 10.0 kgf·m / 6,000 rpm
 TRANSMISSION: 5 SPEED RETURN
 BODY COLORING: SILVER METALLIC 1,
 GRAY METALLIC 3, BLACK 2
 ¥930,000

XJR1300

●詳しくは販売店にお問い合わせください。●メーカーオプションで速度警告灯装着仕様車(¥10,000高)もあります。

インターネットホームページ <http://www.yamaha-motor.co.jp/mc/xjr1300/>

**Y.E.S.S. ヤマハ新車ご購入と同時にご入会すると
初年度年会費すべて無料!**

●Y.E.S.S.年会費3,000円(税別) ●カード年会費900円(税別) ■新車ご購入以外のご入会者も初年度カード年会費無料! 入会のお問い合わせ、お申し込みはY.E.S.S.のステッカーのあるY.E.S.S.加盟店、またはY.E.S.S. HOT LINE ☎0120-319-819へどうぞ。



ヤマハは、いま、大人の週末バイクライフを応援しています。

週末はバイク人
WE

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社



日本特殊陶業

Plug is NGK.

いままでも、これからも。



世界140カ国で愛用され、世界が認めたトップブランドNGKスパークプラグ。VXプラグは、極めて細いプラチナの中心電極と、鋭く尖った外側電極により、着火性能を飛躍的に向上させました。加速性、省燃費はもちろん排気ガスのクリーン化にも貢献しています。

NGK VX プラグ

F1をはじめ各種四輪・二輪レースのサポートをしています。URL <http://www.ngkntk.co.jp>

全戦全勝。



'97WGP125cc&250ccクラスにおいて

ダンロップは全戦全勝という輝かしい記録を達成した。

すなわち、V・ロッシ、M・ピアッジという二人のシリーズチャンプを中心としたダンロップタイヤユーザーが、WGPシリーズ全15戦にわたって2クラスで表彰台の頂上を完全に独占したのである。

この圧倒的な強さを発揮するダンロップテクノロジーを受け継いだハイパフォーマンス・ラジアル、ライディーンGPR-70。

その、WGP直系のチャンプ・スペックが生み出す戦闘力は、ライバルを突き放し、さらなる勝利へと向かう。

CHAMP SPEC
Rideen

GPR-70



'98
RACING
KIT PARTS

YZF750SP



SBキットセット

セット希望小売価格

¥1,300,000



エンジン オプションパーツ



ボディ オプションパーツ



※写真のパーツはプロトタイプのため、実物とは異なる場合がございます。
※このレーシングパーツはレース専用のものです。
※本仕様は改良のために予告なく変更することがあります。

取扱店 ヤマハRSS各店

RCSUGO

〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
TEL 0224-83-3125 FAX 0224-83-3130

BRIDGESTONE

このグリップはサーキットから生まれた。

BATTLAX

BT-96

RACE TYPE

SPLレースで勝利を呼ぶ脅威のグリップ、デビュー。

新登場

FRONT

REAR

着心地のいい、街造り。

街造りは、人が住み暮らす空間の創造。豊かな文化の育まれるコミュニケーションあふれる街、そして、より安全で住みやすい街造りは、私たちの共通の希求です。トビシマは、暮らしに密接した住宅建設を始め、道路や鉄道、上下水道施設など、暮らしを守る都市基盤のハードウェア造りを通じて「着心地のいい街」のための小さな一翼を担っています。今日も幅広い技術を背景に、効率性や機能性をさらに一歩進めた、やさしいヒューマンウェアの領域を目指し、確かな建設をおこなっています。



ジュビロ磐田スタジアム

**飛島建設**

本社：東京都千代田区三軒町2番地 TEL:03-5611-0100 (代表) Fax:03-5611-0101

慶びの日のために……

生涯の思い出を、ご希望にあわせてより印象深く……。



東武ホテルチェーン
仙台国際ホテル

〒980-0021 仙台市青葉区中央4-6-1 Tel.(022)268-1111

'98 SUGO ROADRACE



1998全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦
TIME SCHEDULE

4月25日(土)公式予選 ■ゲートオープンAM6:30～ ●一般入場AM9:00～

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
公式車検	6:30 ゲートオープン		全クラス								
公式予選			20 30 50 GP 125 C GP 125 B	20 30 50 GP 125 A GP 250 B	20 30 50 GP 250 A SUPER BIKE B SUPER BIKE A	20 SUPER BIKE A	20 30 50 GP 125 C GP 125 B	20 30 50 GP 125 A GP 250 B	20 30 50 GP 250 A SUPER BIKE B SUPER BIKE A	20 30 50 GP 250 A SUPER BIKE B SUPER BIKE A	20 30 ST 150 10 40 SP 250

4月26日(日)決勝レース ■ゲートオープンAM6:00～ ●一般入場AM7:00～

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
公式車検	6:00 ゲートオープン	10 25 35 50 ST 150 SP 250									
公式予選		10 25 35 50 ST 150 SP 250									
ウォームアップ走行			10 30 50 GP 125 GP 250 S B								
スタート前チェック				50 05	15		50 05	15 30	10 25		
スタート進行				20	30		20	45	40		
決勝レース					55 GP125 (18L)	10 GP250 (20L)		10 SUPERBIKE (25L)	05 ST150 (8L)		10 SP250 (10L)
仮表彰				05		20 50 ピットウォーク トラックショー		20	15	10	

- SPONSORS**
- RC SUGO
 - RFC 事務局
 - 株式会社アライヘルメット
 - 川崎重工業株式会社
 - 仙台国際ホテル
 - スズキ株式会社
 - 飛鳥建設株式会社
 - 株式会社日本ダンロップ
 - 日本特殊陶業株式会社
 - ブラウン・アンド・ウィリアムソン・タバコ・コーポレーション
 - 株式会社ブリヂストン
 - 株式会社ホンダアクセス
 - 株式会社ホンダレーシング
 - ミシュランオカモトタイヤ株式会社
 - ヤマハ発動機株式会社
 - ヤマハ発動機販売株式会社
 - UCC 上島珈琲株式会社

CONTENTS

- タイムスケジュール・協賛各社・目次…………… 8
- 大会会長挨拶・大会役員・審査委員・競技役員…………… 9
- INT スーパーバイク……………10
- INT GP250……………12
- INT GP125……………14
- 各クラスエントリーリスト……………16
- ロードレースをたのしもう……………24
- 観戦ガイド・SUGOレースカレンダー……………28
- オフィシャル紹介……………30

ご来場の皆様へ

ロードレース競技には危険が伴います。本大会の競技・運営において、事故のため観客が損害・死傷を受けた場合、本大会の主催者、運営役員、競技参加者は、これに対する補償責任は一切ありません。この点をご了承の上でご入場いただき、決められた場所で観戦くださるようお願い申し上げます。

<http://www.sportsland-sugo.co.jp>

■モータースポーツファン必見！
SUGOのホームページ、リニューアルして登場

レースクイーンのプロフィールやレースチケット情報が満載。SUGOのことが知りたいなら今すぐアクセス!!

'98 SUGO ROADRACE



'98全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦

GREETING OFFICIAL



スポーツランドSUGO 代表取締役社長
松本 忠

本日は、スポーツランドSUGOにお越し頂きまして、誠に有り難うございました。春爛漫の良き季節、当スポーツランドSUGOにおきまして、'98全日本ロードレース選手権、シリーズ第2戦を開催できますことを、ファンの皆様そして関係者様の皆様方に心より感謝申し上げます。

本レースは、ある意味で東北にロードレースシーズンの訪れを告げる大会でもあります。この全日本ロードレース選手権は、日本のモーターサイクルレース界におきまして、最高峰の伝統と権威そして水準を誇るイベントでございます。モーターサイクルスポーツの花形イベントとしてファンの皆様に親しまれてまいりましたことは、言うまでもありません。そのスピード感・エキサイティングな走り・レベルの高さ・そして手に汗握る展開は、今回も必ずやファンの皆様にご満足いただけるものと確信致しております。特に最近では、日本人ライダーの進境が著しく、数々のヒーローが誕生してきております。ファンの皆様には、レースを存分に御堪能いただけますことと共に、ライダー・チーム関係者に対しましては、暖かい御声援を賜りますよう御願ひ申し上げます。

他方参加選手の皆様ならびにチーム関係者の皆様におかれましては、競技規則を厳守の上、日頃鍛えぬかれましたその世界一流の技量をいかんなく発揮され、会心のレースを収められますことを希望致します。

末尾になりましたが、本大会への開催に際しご尽力いただきましたスポーツランドSUGOのスタッフ、大会役員、大会競技役員、御協賛各社の皆様様に厚く御礼申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

大会役員

大会 会長 松本 忠
大会 副会長 渡辺 通弘

大会組織委員会

大会組織委員長 太田 初美
大会組織委員 芳野 憲雄

競技役員

競技監督 若林 太市
副監督 後藤 秀典
副監督 佐藤 守之助
管制 伊藤 長力
計時 佐藤 和則
副計時 渡辺 理一
進行・ピット 山田 裕一
副進行・ピット 佐竹 良美
車検 菅野 光一
副車検 永井 譲
救護 大槻 克仁
副救護 伊藤 正信
コース長 佐々木美津也
フラッグマーシャル 今出 ゆきよ

大会審査委員会

審査委員長 藤井 瑋美
審査委員 内藤 正典
審査委員 板橋 康行
審査委員 太田 初美
審査委員 藤本 康孝

大会事務局 局長 新田 尚宏
大会事務局 次長 高橋 吉男
大会事務局 事務 局 渡辺 俊儀
大沼 亮子
大荒 智美

大会アナウンサー みし 奈昌 俊一
マシナリー 佐々木 恵一
ドクター パー 大平 良彦
ドクター ハー 大槻 幸夫
スタートシグナル 前田 幸賢
レースクイーン 水庭 由香
深谷 美愛
茂泉

SUGOロードレース選手権 大会審査委員会

審査委員長 芳野 憲雄
審査委員 桑谷 伸
審査委員 船山 匠

大会事務局 長 森 健太郎

競技委員

計時委員	佐藤 順子	菊地 充枝	佐藤 啓子	石川 祥子
秋山 豊	小泉 富保	高橋 康一	清水 正己	柏倉 久仁子
林 見子	木村 善衛	成田 優樹	島田 幸照	平山 紀美子
秋山 未知	村越 征巳	上沢 和成	川口 順央	伊豫田 美智世
浪岡 周一	加藤 昭夫	東海 幸康	竹内 寿昭	伊豫田 敬
高橋 すすみ	片山 吉宏	中川 由香	菅原 茂	宮崎 朝志
下浦 道子	宮田 智弥	原田 忠彦	太田 博章	佐藤 新一
林 絵里子	宮田 幸一	加島 哲浩	青井 二郎	丹 俊雄
伊藤 定	新開 祥子	村上 幸夫	田中 浩	戸村 次男
及川 昌代	山田 英子	居鶴 恭幸	田口 和秋	宮内 真美
佐藤 裕子	奥平 文明	武田 明弘	千田 雅俊	金子 勇
秋山 雄志	川口 淳介	吉田 政彦	相澤 典子	沼田 保則
森 小波	大内 淳宏	高橋 幸恵	田澤 和博	大場 善隆
大室 ひとみ	菊地 アカネ	猪俣 幸穂	後藤 洋二	大藤 浩
工藤 葉子	吉田 淳宏	高橋 美穂	後藤 洋二	工藤 浩
救護委員	小林 陽一	高橋 裕樹	高橋 仁	工藤 直子
手塚 暁彦	北村 政彦	浦部 晶彦	後藤 真理	林 宗俊
遠藤 善久	山田 大介	山ノ内 亮人	後藤 美恵	大橋 和寛
菅野 一哉	小野 恵子	大藤 義顕	手塚 玲子	ジョウハリ
菅野 尚	及川 洋	梅津 由紀	澤目 京子	クラ ナ
宮内 雄太郎	谷津 吉広	大槻 信行	大瀧 悦子	イコラム
沢田 雅俊	和田 健太郎	玉楓 賢	亀山 大輔	

車検委員

佐藤 新一
丹 俊雄
戸村 次男
宮内 真美
金子 勇
沼田 保則
大場 善隆
工藤 浩
島藤 直子
林 宗俊
大橋 和寛
ジョウハリ
クラ ナ
イコラム

管制委員

高橋 仁
後藤 真理
手塚 京子
澤目 悦子
大瀧 大輔

進行・ピット・パドック委員

高橋 仁
後藤 真理
手塚 京子
澤目 悦子
大瀧 大輔

SuperBike



国内4メーカー&ドゥカティ バトル!! 今年はマシン、ライダー共に実力伯仲だ

'95年~'96年、このスーパーバイク・クラスは青木拓磨(ホンダ)の独壇場だった。

そして昨'97年は、急成長を遂げた芳賀紀行(ヤマハ)が、ライバルを寄せ付けぬ圧倒的な速さを披露して、初タイトルを獲得している。そう、ここ数年は、一人の飛び抜けた速さを持つライダーによってスーパーバイク・クラスは支配されていたわけだ。しかし、チャンピオン芳賀紀行、ランキング2位の藤原克昭がそれぞれワールドスーパーバイク、世界GP500へと移籍したことから、今年はどうやら特定ライダーの独り舞台という図式が崩れ、毎レースで大接戦が展開されそうな気配がムンムンしている。

こうした中で注目されるのは、昨年までのカワサキからスズキへ電撃移籍した梁明と、ヨシムラからカワサキ・ワークス入りした芹沢太麻樹、そして全日本GP250クラスからスーパーバイク・クラスへスイッチした芳賀健輔の3人だ。彼ら3人が、新天地でどのようなポテンシャルを発揮するかによって、シリーズの流れは大きく変わる可能性がある。さらに、ヨシムラ入りした浜口俊之も要注目ライダーの一人。キレた時の速さはズバ抜けており、台風の目となることは間違いない。

SUPER BIKE RIDERS PROFILE



武田雄一 Yuichi TAKEDA
LUCKY STRIKE HONDA
HONDA RVF/RC45
1977年11月29日生まれ。20歳。
埼玉県出身。'97年ランキング3位



吉川和多留 Wataru YOSHIKAWA
MARLBORO YAMAHA RACING TEAM
YAMAHA YZF750
1968年9月26日生まれ。29歳。
東京都出身。'97年ランキング4位



伊藤真一 Shinichi ITO
LUCKY STRIKE HONDA
HONDA RVF/RC45
1966年12月7日生まれ。31歳。
宮城県出身。'97年ランキング5位



梁明 Akira RYO
TEAM SUZUKI JAPAN
SUZUKI GSX-R750
1967年10月20日生まれ。30歳。
東京都出身。'97年ランキング2位



武石伸也 Shinya TAKEISHI
KAWASAKI RACING TEAM
KAWASAKI ZX-7RR
1967年10月5日生まれ。30歳。
北海道出身。'97年ランキング7位



芹沢太麻樹 Tamaki SERIZAWA
KAWASAKI RACING TEAM
KAWASAKI ZX-7RR
1972年9月28日生まれ。25歳。
埼玉県出身。'97年ランキング8位



北川圭一 Keiichi KITAGAWA
TEAM SUZUKI JAPAN
SUZUKI GSX-R750
1967年3月24日生まれ。31歳。
東京都出身。'97年ランキング9位



芳賀健輔 Kensuke HAGA
MARLBORO YAMAHA RACING TEAM
YAMAHA YZF750
1973年6月1日生まれ。24歳。
愛知県出身。'97年ランキング2位
(250class)

「タイトル獲得のためにも
地元SUGOでは、負けられない」



伊藤真一

ホンダRVF/RC45
チーム・ラッキーストライク・ホンダ
'88年 国際A級昇格と同時にHRC入り
'89年 全日本500 参戦ランキング2位。
'90年 全日本500 チャンピオン。
'91年 全日本500 ランキング3位。
'92年 全日本500 ランキング8位。
'93年 世界GP500 ランキング7位。
'94年 世界GP500 ランキング4位。
'95年 世界GP500 ランキング6位。
'96年 世界GP500 ランキング12位。
'97年 鈴鹿8時間耐久優勝。
'97年 全日本スーパーバイクランキング5位。

長年戦い慣れた世界GP500から、全日本を盛り上げるために戻った伊藤真一の'97年は、500とスーパーバイク(SB)の違いに戸惑いながら始まった。

「世界GPで乗り慣れていたNSR500と'96年に乗ったNSR500V、そして、SBのRVFと、毎年バイクが変わったことで、リズムを掴むことが出来ずに、シーズンが始まってしまった。鈴鹿8時間耐久で優勝出来たあたりから、ようやく自分らしさを取り戻すことができた」

今でも世界レベルの走りを評価されている伊藤にとって、'97年ランキング5位の結果は屈辱的なものだったに違いない。だが、念願の鈴鹿8時間耐久優勝で、そのポテンシャルが示される。また、最終戦となったSUGOでも、その速さに観客は酔った。赤旗中断で2ヒート制となり、合計タイムで勝敗が別れたレースで、伊藤はトップでチェッカーを潜り抜けた。(総合

結果は2位となる)

「去年の暮れから、いいリズムが続いていると思う。レースはやって見なければわからないけど、自分が納得出来る走りがしたい。また、世界GPに戻って500で走りたいという思いもある。そのためにも、チャンピオンを取らないと……」

開幕戦のもてぎは、事前テストから好調な滑り出しを見せていた。予選でもカワサキの武石伸也と激しいボールポジション争いの末に2番手。スタート直後、5台の多重クラッシュで赤旗が提示され。再スタートとなったレースで、トップをキープし続けた。誰も寄せつけない貴祿の走りを見せるが、ラスト4ラップ目、痛恨の転倒で戦列を離れた。だが、伊藤が完全に自分自身を取り戻していることは、深く印象に残った。

「勝てる自信があっただけに、残念なレース。でも、残りのレースは、全部勝つつもりで挑もうと思う。調子は、決して悪くないので、自分の走

りをきっちりとしたい」と開幕Vとならなかったからこそ、SUGOに賭ける意気込みは大きい。そして、地元、SUGOは、伊藤にとって、思い出が、いっぱい詰まったサーキットだ。そこでの優勝は、タイトルに向けて、大きな弾みとなる。「だからこそ、負けられない」と伊藤は、勝利を見据えていた。

全日本ロードレース第1戦 TWIN RING MOTEGI RESULT

POS	No.	Rider	Type
1	4	吉川 和多留	YZF750
2	9	北川 圭一	GSX-R750
3	12	井筒 仁康	ZX-7RR
4	51	芳賀 健輔	YZF750
5	45	浜口 俊之	GSX-R750
6	36	宗和 孝宏	RVF/RC45

GP250



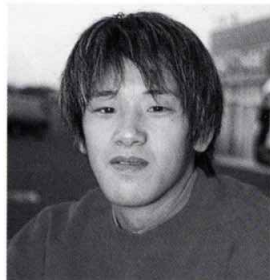
中野、松戸が急成長 ストップ・ザ・大治郎の旗手となるか?

昨'97年の戦いを振り返ると、加藤大治郎(ホンダ)が中心人物となることは間違いない。4月5日に開催された日本GPでも、大治郎は昨年に続き優勝し絶好調だ。しかし、この日本GPで、今年 of 全日本GP250クラスを占う上で重要な出来事が起きていた。

まず、チェッカーまで大治郎とトップ争いを演じたのが、GPライダーではなく、全日本ライダーの中野真矢と松戸直樹(共にヤマハ)であったこと。ヤマハのワークス・ライダーとして今年で2年目を迎える中野は、年齢は大治郎の一つ下で、ライディング・センスは新世代を予感させる。そして松戸は、これまで通りプライベート参戦ではあるが、マシンがこれまでのヤマハTZ250から、ワークス・マシンYZR250となった。世界GPを戦う原田哲也の後輩で、原田自身も松戸の才能を認めているだけに、いよいよその才能の開花の年となりそうだ。

一方、完全新型化されたホンダNSR250だが、日本GPで宇川徹やオリビエ・ジャックが不発に終わったことから分かる通り、信頼面に若干の不安材料を残しているようでもある。流れが一気に変わるかどうか。序盤戦の注目の一戦となる。

GP250 RIDERS PROFILE



加藤大治郎 Daijiro KATO
CASTROL HONDA
HONDA NSR250
1976年7月4日生まれ。21歳。
埼玉県出身。'97年シリーズ・チャンピオン



加賀山就臣 Yukio KAGAYAMA
TEAM SUZUKI JAPAN
SUZUKI RGV-1 250
1974年5月7日生まれ。23歳。
神奈川県出身。'97年ランキング3位



松戸直樹 Naoki MATSUDO
Y.E.S.S. RACING TEAM
YAMAHA YZR250
1973年7月25日生まれ。24歳。
千葉県出身。'97年ランキング4位



玉田 誠 Makoto TAMADA
TEAM KOHTAKE RSC
HONDA RS250R
1976年11月4日生まれ。21歳。
愛媛県出身。'97年ランキング6位



亀谷長純 Choujun KAMEYA
TEAM SUZUKI JAPAN
SUZUKI RGV-1 250
1976年11月10日生まれ。21歳。
埼玉県出身。'97年ランキング7位



原田伸也 Shinya HARADA
SP TADAO RACING TEAM
YAMAHA TZ250
1972年2月26日生まれ。26歳。
千葉県出身。'97年ランキング8位

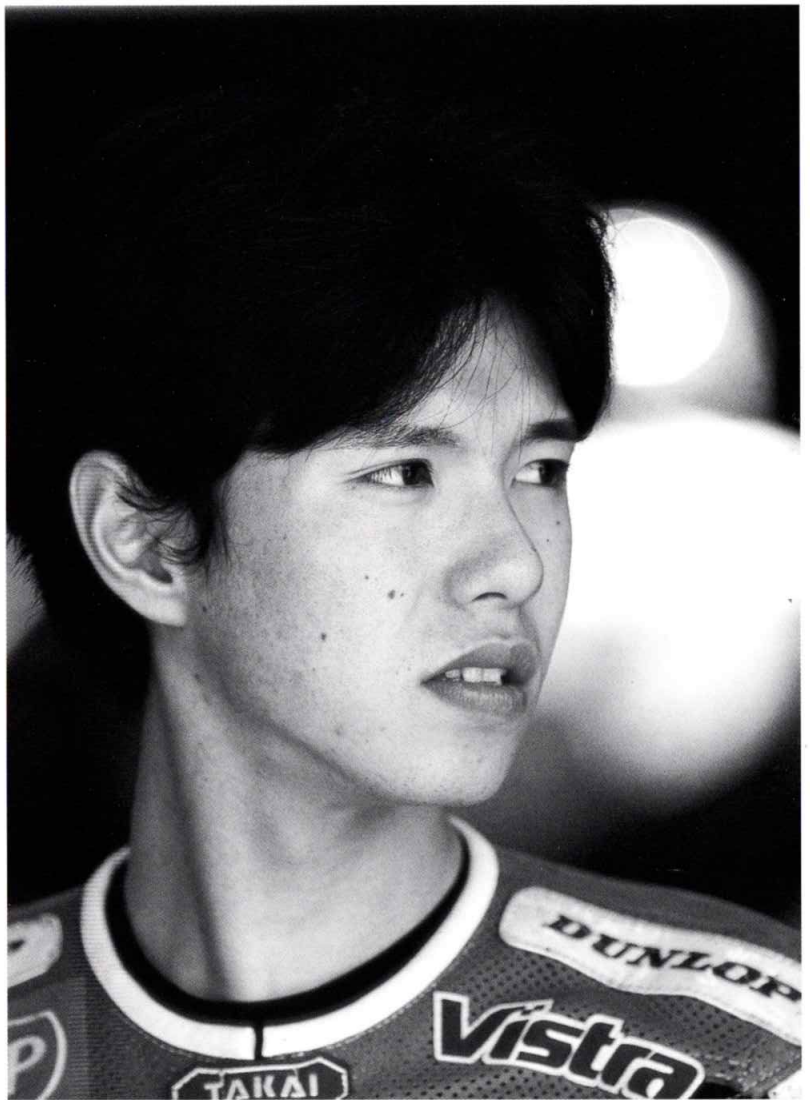


野田弘樹 Hiroki NODA
TSR
TSR AC27M
1970年3月27日生まれ。28歳。
奈良県出身。'97年ランキング9位



中野真矢 Shinya NAKANO
BP YAMAHA RACING TEAM
YAMAHA YZR250
1977年10月10日生まれ。20歳。
千葉県出身。'97年ランキング5位

「SUGOは大好きなコースなんで
勝ちを狙って思いつきり行きたい」



中野真矢

ヤマハYZR250
BP YAMAHA RT

'94年 鈴鹿選手権SP250 チャンピオン。
'94年 関東選手権125 ランキング3位
'94年 関東選手権250 ランキング6位。
'95年 国際A級昇格。
'95年 全日本125 ランキング12位。
'96年 全日本125 ランキング6位。
'97年 ヤマハワークス入り。
'97年 全日本250 ランキング5位。
'98年 世界GP第1戦鈴鹿2位獲得。

現役大学生の中野真矢は、レーサーと学生のふたつの顔を持つ。世界GPチャンピオン、原田哲也のポケバイ、ミニバイク時代の後輩ライダーでもある。その原田の後を追うように中野はレースキャリアを積み重ねている。ヤマハ入りし、250ccにステップアップした昨年は、2連勝を飾るなど才能を開花させ、加藤大治郎のライバルとして急浮上した。

「とにかく、1勝というのが目標でした。そして、ランキング上位に付けて、是非、日本GPに挑戦したかった」

オフシーズンに行われた海外テストでも、世界GP勢を圧巻するタイムを叩き出し、中野は世界中の注目を集めた。

「テストでは、1年分のレースをしたと思う程、走り込みました。タイムも出すことが出来て、それが自信になっています」

そして、待ちに待った'98年日本GPで堂々のトップ争いを繰り広げた。加藤大治郎、松戸直樹との争

いの末、2位を獲得する。

「夢の舞台ですから、最初はドキドキしてました。表彰台に上がれるとは思っていなかったの、2位になれたのは嬉しかった。でも、加藤選手に負けたのは悔しかったですね」

大治郎に僅差で破れた悔しさを、中野は全日本にぶつける。大治郎、中野が目指す世界GP参戦のために、どうしても欲しい全日本チャンピオン。それを巡る戦いが熾烈なものになりそうだ。

開幕戦もてぎでも、中野、大治郎の戦いは注目を集めていた。予選は、事前テストから好調の中野がポールポジションを獲得、大治郎は2番手。決勝でも中野はスタートから飛び出し、一度も後ろを振り返らない走り、ぶっちぎりの勝利を飾った。大治郎は転倒後、赤旗中断、再スタートで2位に付ける。初戦は中野の完全勝利に終わった。

「加藤選手のことは、気にしていないと言えば、嘘になるけど、今は自分の走りを完璧なものにす

ることの方が大切。いずれは、世界GPを走りたい。それを現実のものにするためにも、全日本をしっかり頑張らなければと思っています。SUGOは、昔は苦手だったけど、今は、自分の苦手な部分も克服、大好きなコースになりました。初優勝したところでもあるし、思いつき勝ちを狙って行きます」と2連勝に向けて気合充分だ。

全日本ロードレース第1戦
TWIN RING MOTEGI RESULT

POS	No.	Rider	Type
1	56	中野 真矢	YZR250
2	1	加藤 大治郎	NSR250
3	4	松戸 直樹	YZR250
4	6	玉田 誠	RS250R
5	7	亀谷 長純	RGV-I'250
6	8	原田 伸也	TZ250

GP125



シリーズ序盤でイニシアチブを取るのは誰だ?

今年もまた大混戦必至!!

今年は、シリーズが全9戦となり、昨年と比較して2レース少ない。ということは、一つの取りこぼしがタイトル争いに大きく影響してくることを意味している。言い換えると、コンスタントに上位に食い込むことが、タイトル獲得への近道でもあるわけだ。

さて、この全日本GP125クラスは、今年もまたライダー、マシンのポテンシャルが各チーム共に拮抗しており、毎レースで大混戦が予想される。一瞬の判断ミスによって、大きく順位を下げてしまうこともあるために、ライダーの集中力の持続性が試されるクラスといえるだろう。

一方でSUGOは、グランド・ストレートへ向けて10%というキツイ登り勾配を持つのが大きな特徴の一つに挙げられるコース。セッティングにごまかしの利かない125ccマシンでは、この10%登り勾配からのストレートやバックストレッチでの最高速仕様にするか、各コーナーを素早くクリアするインフィールド仕様にするかによっても、作戦の立て方に違いが出てくる。これは、各ライダーの勝負ポイントで分かるので、レース実況に耳を傾けながら注目していただきたいが、ここSUGOで勝つためには、すなわちチームの総合力が問われることになるわけだ。

GP125 RIDERS PROFILE



秋田貴志 Takashi AKITA
J RACING
YAMAHA TZ125
1974年2月2日生まれ。24歳。
神奈川県出身。'97年シリーズ・チャンピオン



菊地寛幸 Hiroyuki KIKUCHI
TUBE RIDERS&Ablecom.
HONDA RS125R
1965年8月3日生まれ。32歳。
京都府出身。'97年ランキング2位



大崎誠之 Nobuyuki OSAKI
SP TADAO RACING TEAM
YAMAHA TZ125
1971年3月8日生まれ。26歳。
福岡県出身。'97年ランキング4位



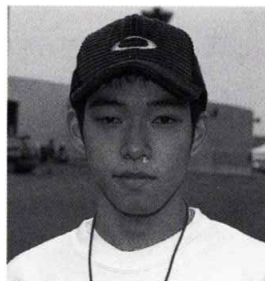
高尾和弘 Kazuhiro TAKAO
TEAM HARC PRO
HONDA RS125R
1968年5月19日生まれ。29歳。
愛知県出身。'97年ランキング5位



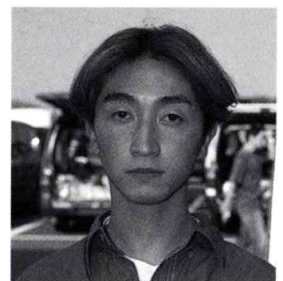
藤岡祐三 Yuzo FUJIOKA
M'-PROJECT
HONDA RS125R
1973年5月2日生まれ。24歳。
愛媛県出身。'97年ランキング6位



稲毛田潤 Jun INAGEDA
TUBE RIDERS&Ablecom.
HONDA RS125R
1966年7月12日生まれ。31歳。
神奈川県出身。'97年ランキング7位



酒井大作 Daisaku SAKAI
テクノキルド RT カワゼン
HONDA RS125R
1982年3月12日生まれ。16歳。
大阪府出身。'97年ランキング8位



小野真央 Masafumi ONO
TEAM HARC PRO
HONDA RS125R
1972年6月9日生まれ。25歳。
栃木県出身。'97年ランキング9位

菊池寛幸

ホンダRS125R
TUBE R&Ablecom.
'93年国際A級昇格
'93年全日本125 ランキング4位。
'94年全日本125 ランキング9位。
'95年世界GP125 参戦。
'95年全日本125 ランキング30位。
'96年全日本125 ランキング10位。
'97年全日本125 ランキング2位。

「去年以上に優勝回数を増やして
今年は、チャンピオンを狙う」



ショップオーナーとしての仕事をこなしながら、ライダーとして第1線で活躍している菊池。その菊池が、これまでの走ったレースの中で、最も印象に残るレースに上げたのは、'97年全日本最終戦だ。タイトル争いのかかったSUGOの戦いは、秋田と菊池の間で争われた。菊池が終始レースをリード、巧みな走りを見せ、激しいバトルに競り勝った。だが、チャンピオンは1ポイント差で秋田のものになってしまう。レース後、菊池は、さばさばした口調で「チャンピオンのことは気にしていなかった」と語った。シーズンを終えて見れば4勝を挙げて最多勝に輝いた。

「'96年はメカもなく、ひとりでバイクを作って、走るという体制だったのが、'97年は新しいチームで、メカもついた。レースを出来る体制になって、勝つことも出来て、いいシーズンだったと思う」

'97年は、タイトルのことなど、考えずに無我夢中で走っていたら、チャンピオン争いをしていた

菊池だが、このオフ、ランキング1位とランキング2位の違いを噛みしめることになる。

「うまく、言えないけど、その違いを感じる。だから、今年こそ、チャンピオンになりたいと思う。勝ち数を増やして、文句なしのチャンピオンになりたい」

開幕戦のもてぎでは、予選から快調な走りを見せ、ポールポジションを狙う勢いを見せた。だが、タイムアタックの最中に転倒、鎖骨を折る怪我をしてしまう。本人は「このレースのためにマシンを仕上げてくれたメカニックやスポンサーのことを考え、何が何でも参戦したい」と訴えたが、ドクターストップがかかり、レースをキャンセルせざるをえなかった。気持ちを入れ替え、一刻も早く怪我を直そうと、菊池はサーキットを後にした。GP125は、転倒者が続出。40台がスタートを切るがフィニッシュラインを通過出来たのは23台の波瀾のレースとなった。

この激戦の125ccで勝ち続けることは至難の技だ。菊池も「秋田、大崎、仲城、藤岡とライバルは多い。他、ベテラン勢、若くて勢いのあるライダーと簡単に勝てない。だけど、それが、面白さでもある。SUGOは景色も良くてアップダウンもある。走っていて面白いコース。怪我をしっかりと直して、是非、いいレースをしたい」と語った。

全日本ロードレース選手権第1戦
TWIN RING MOTEGI RESULT

POS	No.	Rider	Type
1	10	仲城 英幸	RS125R
2	5	高尾 和弘	RS125R
3	17	久保 和寛	TZ125
4	41	山田 実	RS125R
5	12	井手 敏男	RS125R
6	98	山本 武宏	RS125R

GPI25



ゼッケン	予選区分	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
1	A			秋田 貴志	24	神奈川	Y-TZ125	TEAM伸興通産J Racing
2	B			菊池 寛幸	32	京都	H-RS125R	TUBE R & Ablecom.
4	C			大崎 誠之	27	福岡	Y-TZ125	SP忠男レーシングチーム
5	A			高尾 和弘	29	愛知	H-RS125R	カストロールTEAM ハルクプロ
6	B			藤岡 祐三	24	愛媛	H-RS125R	M'-PROJECT
7	C			稲毛 田潤	31	神奈川	H-RS125R	TUBE R & Ablecom.
8	A			酒井 大作	16	大阪	H-RS125R	テクノギルドRTカワゼン
9	B			小野 真央	25	栃木	H-RS125R	カストロールTEAM ハルクプロ
10	C			仲城 英幸	29	奈良	H-RS125R	Jhaレーシング
12	A			井手 敏男	27	大阪	H-RS125R	チーム ウイリー
13	B			上江洲 克次	23	愛知	Y-TZ125	TEAM伸興通産J Racing
14	C			菅谷 慎一	25	東京	H-RS125R	チームフジワラBP
15	A			岡田 純一	23	京都	H-RS125R	Jhaレーシング
16	B			鶴飼 孝徳	28	三重	H-RS125R	P☆OZ☆ドラスティック & ニワ
17	C			久保 和寛	26	大阪	Y-TZ125	HITMAN RC甲子園ヤマハ
18	A			天野 邦博	28	東京	H-RS125R	ライダーズサロン横浜・BP
19	B			依田 裕章	26	神奈川	H-RS125R	TUBE R & Ablecom.
20	C			中村 実	26	宮城	H-NX4	TOYO.TOWNS & TJC
21	A			笹島 義久	30	神奈川	H-RS125R	TUBE R & Ablecom.
24	B			永田 健二	27	三重	H-RS125R	HARC-PRO & AZUMA
25	C			山下 祐	29	神奈川	Y-TZ125	ミクニ,クラブベンティスRP
26	A			伊東 哲	30	東京	H-RS125R	Fine Racing
27	B			早原 邦顕	27	三重	Y-TZ125	HITMAN RC甲子園ヤマハ
28	C			加藤 徹	24	大阪	H-RS125R	昭和電機レーシングチーム
29	A			酒井 雅章	26	茨城	H-RS125R	RyOX Motor Sports
30	B			大橋 賢	24	東京	H-RS125R	チームオートスタジオ スキル
31	C			東 敬太	32	東京	H-RS125R	TUBE R & Ablecom'
32	A			松永 弘志	24	千葉	H-RS125R	テクニカルスピード
33	B			上野 秀昭	31	愛知	H-RS125R	ガレージウエノ & RSALザース
34	C			渡部 伸	27	埼玉	H-RS125R	ホンダブルーヘルメットMSC
37	A			安那 宏昌	26	広島	H-RS125R	わんぱくごぞう & SPIRIT SPORTS
39	B			川瀬 誠	25	神奈川	H-RS125R	テクニカルスピード
40	C			横江 竜司	20	宮城	Y-TZ125	SP忠男レーシングチーム
41	A			山田 実	32	千葉	H-RS125R	Fine Racing
42	B			大石 義次	27	東京	Y-TZ125	EAST CORE ヤマハ
43	C			古橋 徹	25	埼玉	H-RS125R	アリス・レーシングプロジェクト
44	A			熊谷 孝	24	京都	Y-TZ125	TEAM伸興通産J Racing
45	B			星野 知也	25	神奈川	H-RS125T	テクニカルスピード
46	C			加藤 直樹	26	東京	H-RS125R	Jhaレーシング
47	A			鶴若 直樹	26	神奈川	H-RS125R	ライダーズサロン横浜
48	B			久保 田忍	28	埼玉	H-RS125R	M'-PROJECT モトクラッチ
49	C			岩田 吉正	33	三重	H-NX4	Team BATTLE
50	A			魚谷 貴康	24	大阪	H-RS125R	αCMA シリウスレーシング
51	B			吉田 忠幸	25	三重	Y-TZ125	TEAM伸興通産J Racing
52	C			杉山 ケンジ	32	山梨	H-RS125R	ペンタグラムwith Agip
53	A			田中 明雄	18	福岡	H-RS125R	Team Life・RHEOS
54	B			上木 聡	28	大阪	H-RS125R	TEAM 竹島 KアンドT
55	C			山内 聡司	26	大阪	H-RS125R	ガレージウエノ & RSALザース
56	A			熊野 光男	23	神奈川	H-RS125R	Dinky & Able com
57	B			西川 勇一	26	滋賀	H-RS125R	スクーデリアオクムラ & ECHO
58	C			高田 孝慈	35	三重	H-RS125R	TEAM 竹島 KアンドT
59	A			篠田 英博	27	三重	H-RS125R	爽風会鈴鹿レーシングチーム

GP125

ゼッケン	予選 区分	予選 順位	決勝 順位	ラ イ ダ ー 名	年齢	所属県	マ シ ン	チ ャ ーム 名
60	B			川 筋 丈 徳	25	大 阪	H-RS125R	[iválv]とT's
61	C			鈴 木 健	27	埼 玉	Y-TZ125	プレイメイトレーシング 東京
62	A			長 友 日 向	28	神奈川	H-RS125R	Dinky & Able com
63	B			深 井 一 城	29	神奈川	H-RS125R	モトアルファ & 大洗サーキット
64	C			小 磯 栄	29	茨 城	H-RS125R	モトアルファ & 大洗サーキット
65	A			城 戸 謙 二	21	埼 玉	H-RS125R	HARC-PRO & AZUMA
66	B			高 野 悟	22	福 島	Y-TZ125	チーム・ハイブリッジ
67	C			天 野 茂 生	26	京 都	Y-TZ125	HITMAN RC甲子園ヤマハ
68	A			羽 原 繁	24	香 川	H-RS125R	チーム フジワラ BP
69	B			小 島 崇 志	31	新 潟	H-NX4	TEAM KANEYASU
70	C			山 根 幸 男	33	東 京	H-RS125R	TEAM KAZUMA
71	A			今 野 由 寛	17	千 葉	H-RS125R	M'-PROJECT 桶川塾
72	B			佐々木 善 光	24	宮 城	H-RS125R	Team UP・DRAFTS・BS
73	C			岩 瀬 泰 浩	28	東 京	H-RS125R	アリス・レーシングプロジェクト
74	A			寺 林 拓 実	29	東 京	H-RS125R	アリス・レーシングプロジェクト
75	B			田 代 克 尚	25	宮 崎	H-RS125R	Life & PHEOS.SS
76	C			深 沢 忠 昭	26	山 梨	H-RS125R	アリス・レーシングプロジェクト
77	A			竹 内 啓 之	23	岡 山	Y-TZ125	YSP津山レーシングチーム
78	B			山 崎 敏 夫	30	千 葉	H-RS125R	M-TUNE Racing
79	C			松 井 剛	29	東 京	H-RS125R	M-TUNE Racing
80	A			高 津 克 明	24	愛 知	Y-TZ125	ヤマハRTクウォリティ
81	B			岡 安 保	28	東 京	H-RS125R	Dinky & MAX SEVEN
82	C			林 達 也	25	東 京	H-RS125R	モトバムレオスレーシング
83	A			久 山 綾 一	26	栃 木	H-RS125R	オートテック スポーツ
84	B			栗 原 久 泰	29	埼 玉	H-RS125R	i-FACTORY・レオス
85	C			山 下 圭	28	埼 玉	H-RS125R	レオスファニー-WINGオクムラ
86	A			大 沢 仁 人	25	東 京	Y-TZ125	Team YSP町田中央
87	B			山 科 真 治	31	東 京	Y-TZ125	チームファニー & YSP足立中央
88	C			植 田 智 広	24	福 岡	H-RS125R	Team Life・RHEOS
89	A			中 澤 信 幸	24	埼 玉	H-RS125R	ヒステリック グラマー・ヒリュウ-R with エンデュランス
90	B			清 成 龍 一	15	埼 玉	H-RS125R	TEAM-SRS-J
91	C			渡 辺 裕 司	30	神奈川	H-RS125R	Dinky & Able com.
92	A			中 島 一 樹	24	千 葉	H-RS125R	Fine Racing
93	B			大和屋 勝 也	24	大 阪	H-RS125R	GEN'S RACING
94	C			片 平 光 浩	34	千 葉	H-RS125R	鮎斗雲 & FINE & 五十歩百歩
95	A			白 石 貴 之	25	大 阪	H-RS125R	リアライズレーシング
96	B			民 哲 三	28	茨 城	H-RS125R	フォルムアミューカズレーシング
97	C			白 石 卓 郎	32	千 葉	H-RS125R	Fine Racing
98	A			山 本 武 宏	32	和 歌 山	H-RS125R	白浜海洋センター & フジワラ98
99	B			浦 英 樹	30	千 葉	H-RS125R	Team 鮎斗雲
100	C			宮 崎 努	26	高 知	H-RS125R	チームフジワラBP
101	A			松 浦 光 利	27	奈 良	Y-TZ125	YSP津山レーシング
102	B			中 野 健 二	23	埼 玉	H-RS125R	MOTORE IS Racing
103	C			茂 野 徹	29	新 潟	H-RS125R	HASE.レーシングチーム
104	A			荒 川 智 樹	25	三 重	H-RS125R	爽風会鈴鹿レーシングチーム
105	B			宮 川 明 和	28	東 京	H-RS125R	ファイヤーガレージ & 宮川建設(株)
106	C			中 田 健 二	30	奈 良	H-RS125R	BadBoyRT MAXIMA
107	A			伊 東 忠 孝	29	宮 城	H-RS125R	レーシングサヤマ ライドスポーツ
112	B			埜 田 健 太郎	26	大 阪	H-RS125R	チームウイリー 三和総合サービス
116	C			熊 谷 嘉 信	22	宮 城	H-RS125R	PJ-1・JOG-RS熊谷保険
141	A			石 井 大 介	23	新 潟	H-RS125R	TEAM KANEYASU

GP250 SUPERBIKE

ゼッケン	予選区分	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
1	A			加藤 大治郎	21	埼玉	H-NSR250	Castrol HONDA
3	B			加賀山 就 臣	23	静岡	S-RGV-Γ250	チーム スズキ
4	A			松 戸 直 樹	24	千葉	Y-YZR250	YESSレーシングチーム
6	A			玉 田 誠	21	愛媛	H-RS250R	Team 高武RSC
7	B			亀 谷 長 純	21	静岡	S-RGV-Γ250	チーム スズキ
8	A			原 田 伸 也	26	千葉	Y-TZ250	SP忠男レーシングチーム
9	B			野 田 弘 樹	28	奈良	H-AC27M	BS & TSR
11	A			関 口 太 郎	22	東京	Y-TZ250	BP YAMAHA RT
12	B			澤 田 令	20	愛知	H-RS250R	TEAM SRS-J
14	A			山 口 辰 也	22	埼玉	H-RS250R	カストロール TEAM ハルクプロ
16	B			及 川 誠 人	27	神奈川	Y-TZ250	スポーツライダー & PLUSμ
17	A			伊 昌 憲	25	愛知	H-RS250R	ライダーズサロン横浜 花菱
18	B			榊 原 礼 視	27	大阪	Y-TZ250	チームモトスペースTODAYA
22	A			村 田 芳 成	28	大阪	Y-TZ250	モトスポーツ マルタ GK
25	B			小野寺 貴 行	25	宮城	Y-TZ250	日石 & 森のくまさんMIZTEC
26	A			江 口 謙	25	神奈川	Y-TZ250	SP忠男レーシングチーム
31	B			石 井 孝 之	28	千葉	Y-TZ250	ミクニ,クラブベントィスRP
36	A			田 村 則 夫	31	神奈川	Y-TZ250	ツツミモーターズ 2F
40	B			加 藤 達 也	24	愛知	Y-TZ250	プレイメイトレーシング
41	A			興 梶 義 則	25	三重	H-RS250R	爽風会 鈴鹿レーシングチーム
42	B			長 岡 俊 宏	27	兵庫	Y-TZ250	HITMAN RC甲子園ヤマハ
43	A			高 橋 孝 浩	26	東京	Y-TZ250	CISCレーシングチーム
44	B			秋 葉 裕 樹	25	東京	Y-TZ250	プレイメイトレーシング東京
45	A			鈴 木 健 一	29	神奈川	H-RS250R	TOMsports & MHM
46	B			渡 辺 敦	24	千葉	Y-TZ250	SP忠男レーシングチーム
47	A			赤 木 哲 也	26	静岡	H-RS250R	ホンダ浜友会浜松エスカルゴ
50	B			安 達 壇	25	東京	H-RS250R	ヒステリックグラマー・ヒリューR
51	A			小 口 亘	31	千葉	Y-TZ250	ALLMAN & MOTUL郁栄会
52	B			小 林 健 次	27	埼玉	H-RS250R	ホンダ埼玉製作所和光 明和RC
53	A			名 倉 嘉 一	27	静岡	H-RS250R	ホンダ浜友会浜松エスカルゴ
54	B			溝 口 真 弘	24	静岡	Y-TZ250	TEAM伸興通産J Racing
55	A			松 井 智 史	26	東京	Y-TZ250	プレイメイトレーシング東京
56	B			中 野 真 矢	20	千葉	Y-YZR250	BP YAMAHA RT
57	B			和 田 信 治	29	東京	Y-TZ250	スポーツライダー & KISS.R.T.

GP250

ゼッケン	予選区分	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
58	A			平井義貴	25	埼玉	H-NX5	HONDA-むさしの会-狭山レーシングチーム
59	B			上田俊昭	25	東京	Y-TZ250	UNCLE RACING
60	A			山下裕介	21	兵庫	Y-TZ250	HITMAN RC甲子園ヤマハ
61	B			門田祐二	28	三重	Y-TZ250	TEAMモトスポーツ
62	A			林祐孝	28	愛知	Y-TZ250	ヤマハRT,クウォリティ
63	B			三田博正	26	大阪	Y-TZ250	EYE LINE & T.O.RR
64	A			竹中伸浩	33	東京	Y-TZ250	ペンタグラムwithAgip
65	B			嘉陽哲久	16	東京	H-AC27M	F・C・Cテクニカルスポーツ
66	A			小玉孝也	29	宮城	Y-TZ250	よこえRS森のくまさん & YFH
67	B			篠崎元宣	27	埼玉	H-RS250R	R Burning Blood
68	A			大山真	24	愛知	Y-TZ250	TEAM YDS YAMAHA
69	B			小野寺伸也	27	宮城	Y-TZ250	MOTO FAST RT根岸オート
70	A			小口理	31	長野	Y-TZ250	ALLMAN & MOTUL
71	B			鈴木達弥	30	山梨	Y-TZ250	ペンタグラムwithAgip
72	A			新地雄太	20	沖縄	H-NER250	ENDURANCE
73	B			田中大輔	28	愛知	Y-TZ250	TEAM YDS YAMAHA
74	A			小谷田欽章	27	東京	Y-TZ250	J.RACING内外鍛金
75	B			大串晶彦	30	東京	Y-TZ250	トシテック & YSPつくば学園
76	A			雨宮浩二	28	新潟	Y-TZ250	ぐらんぷり ☆ Fast・R
77	B			更科裕樹	32	宮城	Y-TZ250	MOTO FAST RT根岸オート出光
78	A			鈴木淳雄	33	福島	Y-TZ250	パイロット齒研 & 高木AT & 米ワールド
79	B			仲地万寿夫	28	東京	H-RS250R	モトバム レオスレーシングチーム
80	A			菅原量	27	宮城	Y-TZ250	ウォーターストーン・R・C
81	B			渡邊淳衛	25	福島	H-RS250R	クルーズレーシングチーム & 会田車体
82	A			金沢伸也	26	東京	Y-TZ250	Team YSP 町田中央
83	B			吉澤隆	29	神奈川	Y-TZ250	ペンタグラム
84	A			桜井晋吾	23	神奈川	H-RS250R	テクニカルスポーツ関東
85	B			竹下敦	27	東京	H-RS250R	レオスファニーWINGオクムラ
86	A			渡辺正敬	26	宮城	H-RS250R	チーム安倶楽や国分町店 + 博輪舎
87	B			石岡俊輔	26	神奈川	Y-TZ250	ミクニ,クラブベンティスRP
88	A			伊原有原	28	東京	Y-TZ250	プレイメイトレーシング東京
91	B			井上和英	28	栃木	H-RS250R	Scuderia Inoue
98	A			土井柁哉	27	埼玉	Y-TZ250	
99	B			末続仁厚	28	神奈川	H-RS250R	ペンタグラム

SB SUPER BIKE

ゼッケン	予選 区分	予選 順位	決勝 順位	ライダ - 名	年齢	所属県	マシ - ン	チ - ム 名
3	A			武 田 雄 一	20	埼 玉	H-RVF/RC45	チーム ラッキー 스트ライク ホンダ
4	B			吉 川 和 多 留	29	東 京	Y-YZF750	Marlboro YAMAHA
5	A			伊 藤 真 一	31	宮 城	H-RVF/RC45	チーム ラッキー 스트ライク ホンダ
6	B			梁 明	30	静 岡	S-GSX-R750	チーム スズキ
7	A			武 石 伸 也	30	北 海 道	K-ZX-7RR	カワサキレーシングチーム
8	B			芹 沢 太 麻 樹	25	埼 玉	K-ZX-7RR	カワサキレーシングチーム
9	A			北 川 圭 一	31	静 岡	S-GSX-R750	チーム スズキ
13	A			鎌 田 学	27	三 重	H-RVF/RC45	Team 桜井ホンダ
16	B			長谷川 克 憲	29	千 葉	Y-YZF750	TEAM ITA & RC-SUGO
17	A			原 口 祐 二	30	三 重	H-RVF/RC45	爽風会・鈴鹿レーシングチーム
21	B			金 安 智 彦	36	新 潟	H-RVF/RC45	Défi T.KANEYASU
24	A			青 柳 幸 広	26	大 阪	Y-YZF750	SWIFT・R・MOTUL
28	B			山 中 正 之	29	神 奈 川	D-916	レーシングチーム ハニービー
30	A			山 本 琢 磨	20	兵 庫	K-ZX-7RR	TEAM GREEN
34	B			深 見 貴 広	27	愛 知	Y-YZF750	クレバーウルフレーシング & EF
36	B			宗 和 孝 宏	32	兵 庫	H-RVF/RC45	Team, Iwaki
38	B			中 村 健 一 郎	29	茨 城	H-RVF/RC45	ホンダ ブルーヘルメットMSC
41	A			加 藤 潤 一	21	愛 知	Y-YZF750	TEAM YDS
43	A			小 野 寺 康 浩	30	宮 城	D-916	ITA & ナオエマシナリー ライディーン倶楽部
44	B			高 橋 芳 延	30	兵 庫	H-RVF/RC45	D,D,BOYS Racing
45	A			浜 口 俊 之	27	愛 知	S-GSX750R	ヨシムラ・スズキ・GP1プラス
46	B			中 澤 敬 一	31	宮 城	K-ZX-7RR	遠藤輪業RT & スペースアート

'98MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦

決勝スタート/4月26日 13:20

周回数/25周

レース距離/93.4375km

●これまでのコースレコード

1分30秒357 1997年4月26日

'97全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦

武田雄一/ホンダRVF/RC45



ゼッケン	予選区分	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
50	A			松原 泉	29	埼玉	K-ZXR750	RS-ITOH & 酒巻クリニック
51	B			芳賀 健輔	24	愛知	Y-YZF750	Marlboro YAMAHA
52	A			薄井 誠	31	東京	Y-YZF750SP	レーシングチーム OutRun
55	B			高津戸 義彦	25	三重	H-RVF/RC45	D,D,BOYS Racing
56	A			谷口 仁	34	栃木	Y-YZF750SP	コンパニオンフレンド & モト片柳
61	B			星 秀明	30	福島	D-916	TEAM ITA
62	A			上村 芳範	24	大阪	H-VTR1000F	P・S supply+中井輪業
63	B			佐伯 宏	22	島根	K-ZX-7RR	ウッドストックレーシングチーム
64	A			前唄 秀典	31	東京	H-RVF/RC45	明和レーシングクラブ
65	B			山崎 直司	23	栃木	K-ZX-7RR	KAZE 東日本 & MST,RT
66	A			渡辺 克也	36	岩手	H-RVF/RC45	BIG.BOX.レーシングT
67	B			五味 守道	29	埼玉	K-ZX-7RR	RS-ITOH
68	A			下田 賢一	29	東京	K-ZX-7RR	チームMSL & リーフ・エンジン
69	B			筒井 秀明	31	埼玉	H-VTR1000F	MRD T-CRAFT
70	A			武山 祐介	26	宮城	Y-YZF750	MOTOTECR4 RC SUGO
71	B			腰山 勝仁	27	東京	H-RVF/RC45	Team 桜井ホンダ
72	A			中川 直史	25	三重	H-RVF/RC45	ホンダ浜友会 浜松エスカルゴ
74	B			小田切 紀和	30	埼玉	H-RVF/RC45	ホンダむさしの会狭山レーシング
98	A			渡辺 篤	21	静岡	S-TL1000R	チームスズキ
771	B			中村 義彦	23	宮城	Y-YZF750	MV PROJECT + T's
916	A			浅井 一朗	24	宮城	D-916	チーム・ファンデーション

夢は150から始まる。

新カテゴリー、150。いま待望のNEWマシンが、
低プライス・高性能で登場!



Liquid-cooled 149cc with RC valve POWERFULL
HRC Special Expansion chamber COMPETITIVE
Box section steel frame and PRO-ARM TOUGH
Easy to entry motorcycle sports LOW PRICE

NSR150

パーツkit単体販売(メーカー希望小売価格)

kitの主な内容

【エンジンパーツkit】 シリンダーセット：1 ピストン：2
115,000円 シリンダーヘッド：2 リードバルブオンリー：4
(140,000円相当) クランクシャフト：1 クラッチディスク：6
ピストンリングセット：2 クラッチプレート：5
ピストンピン：2 ドライブsprocket13T/14T：各1

【フレームパーツkit】 フロントブレーキパッドセット：2 R/Lハンドルパイプ：各1
238,000円 リアブレーキパッドセット：2 R/Lハンドルレバー：各2
(288,000円相当) フロント/リアタイヤ：各5 カウル類一式：1
ブレーキ/チェーンペダル：各1 メンテナンススタンド：1
R/Lステップホルダー：各1
ドライブsprocket38T/42T：各1

【油断類kit】 混合オイル(A747)：3
13,000円 ミッションオイル(ウルトラGP)：2
(19,000円相当) ブレーキオイル(ホンダDOT4)：1

- パーツkitは期間限定販売ではありません。(通常販売)
- ソフトkit販売(ライセンス取得券・エントリー券・走行券)の単体販売はありません。

SPECIFICATIONS

全長×全幅×全高(mm)	1,943×687×1,080
半乾燥重量(kg)	113
総排気量(cm ³)	149
最高出力(PS/rpm)	31/10,500(無鉛ハイオク使用時)
最大トルク(Kgf·m/rpm)	2.2/10,000(無鉛ハイオク使用時)
キャブレター形式	ケイヒン PE28
燃料タンク容量(ℓ)	10.5
クラッチ	ウエットマルチプレート
フレーム型式	スチールツインチューブ

取扱店案内

(株)クルーズ 宮城県角田市字町152 02246-2-0671
(有)金安企画 新潟県三条市須頃1-5 0256-32-8860
(有)アイ・ファクトリー 栃木県小山市千駄塚290-6 0285-45-3373
(有)エンデュランス 埼玉県川越市大字山田1726 0492-22-7770
ホンダスポーツモトバム 東京都台東区台東4-13-23 03-3831-4265
オートショップスガハラ(有) 東京都北区王子3-20-2 03-3914-7500
(有)城北ホンダオート 東京都新宿区西落合3-26-6 03-3952-4004
(有)ハルクプロ 東京都東大和市南街1-9-2 0425-66-3851

ホンダワールド(株) 三重県鈴鹿市住吉町6786 0593-78-1455
モトショップ ヨシハル 三重県四日市市寺方町2342-2 0593-26-7770
(株)アール・エス・タイチ 大阪府大東市中垣内3-1-25 0720-74-3268
オートサービスファースト 大阪府大阪市平野区平野北1-10-40 06-794-5900
中川モータース 大阪府大阪市住吉区中野1-2-12 06-705-2947
X-LAND オガサワラ 岡山県津山市沼844-5 0868-23-1010
(有)ホンダショッププライブ 北九州市小倉南区守恒本町3-1-11 093-963-0800
(株)アール・エス・シー 熊本県菊池郡大津町平川1784-1 096-293-3505

三重県鈴鹿市住吉町6786 0593-78-1455
三重県四日市市寺方町2342-2 0593-26-7770
大阪府大東市中垣内3-1-25 0720-74-3268
大阪府大阪市平野区平野北1-10-40 06-794-5900
大阪府大阪市住吉区中野1-2-12 06-705-2947
岡山県津山市沼844-5 0868-23-1010
北九州市小倉南区守恒本町3-1-11 093-963-0800
熊本県菊池郡大津町平川1784-1 096-293-3505

HRC
HONDA RACING
株式会社 **ホンダ・レーシング**
〒351-0024 埼玉県朝霞市泉水3-15-1
TEL.048(461)8781
FAX.048(469)0306

車輛単体期間限定特別販売

448,000円 (メーカー希望小売価格498,000円)
(運賃、消費税別途)

平成10年1月10日～4月末日迄

※フルキット(978,000円)も同時販売中! ※写真のカラーリングは撮影用のものです。

勝ってアジア選手権に参戦しよう。

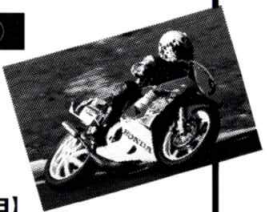
《HRCカップ戦》 エントリー大募集!

STEP ①

国内4ブロックでシリーズ戦を行います。各ブロックの上位10名(計40名)が全国大会に進出できます。

STEP ②

全国大会を勝ち抜いた上位3名をアジア選手権参戦にご招待します。



【HRC CUP NSR150レース開催予定日】

1998	東北ブロック			関東ブロック			関西ブロック			九州ブロック			
	菅生	仙台	エビス	もてぎ	間瀬	筑波	那須	鈴鹿	T.I	セントラル	美祿	HSR	SPA
1月													
2月						14							
3月	21									29			15
4月	26												26
5月					10			3	31		3		
6月			21					14					7
7月	19			5			26			5		5	
8月			9										
9月					20			20				20	
10月		18					25		11				4
11月	22			8/28-29				22		8		1	
12月													6

※(HRCカップ戦)のお問い合わせは各サーキットへ。

SP250

'98SUGOロードレース選手権シリーズ第2戦

ゼッケン	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
1			千葉 淳	21	宮城	Y-TZR250SPR	NISSEKi.MIZTEC & 森のくまさん
2			星野 司	31	新潟	Y-TZR250SPR	サンダーボルトエンジニアリング
3			菅野 登	29	福島	H-NSR250R	YSP福島北 & 蓬田オート
4			新関 隆	32	山形	Y-TZR250	
5			五十嵐 久雄	31	宮城	Y-TZR250SPR	MFRT 根岸オート出光 & DFR
6			安斎 一	26	宮城	Y-TZR250RSP	MOTO FAST RT 根岸オート出光
7			前田 祐二	21	宮城	Y-TZR250SPR	MOTO FAST RT 根岸オート
8			沖田 淳	27	宮城	H-NSR250	
9			菅原 晃	26	岩手	Y-TZR250SPR	よこえRS 森のくまさん
10			金 淳一	30	神奈川	H-NSR250R	モトバム レオスレーシング
11			奥山 和則	31	山形	Y-TZR250	YSP山形南.RSシラタ.
12			末永 善久	25	宮城	Y-TZR250	
13			平岡 健太郎	30	埼玉	Y-TZR250SPR	PJ1 & YSP足立中央
14			狗飼 信一	22	福島	Y-TZR250SPR	Y'zエンジニアリング & MOTUL☆MAC
15			椎名 貴之	24	茨城	H-NSR250R	RT.シオバラ & MC那珂町店!
16			昆野 純	25	岩手	Y-TZR250	RCC フルダテ
17			鈴木 翔	15	宮城	Y-TZR250SPR	よこえRS 森のくまさん
18			田村 僚司郎	25	北海道	Y-TZR250SPR	AVCレーシング
19			菅野 順也	24	福島	S-RGV250I' SP	チーム PRO-TEC
20			早津 洋	37	東京	S-RGV I' 250	RS-OKUNO・バイクランドイン RC
21			風間 宏樹	22	新潟	Y-TZR250RSP	YSP新潟中央!にこぶんR spl
22			山口 睦	21	宮城	H-NSR250SP	Teamライド・スポーツ BS
23			戸谷 健司	28	千葉	S-RGV I' 250SP	☆SBSモトショップ岩井☆
24			守屋 和徳	30	宮城	S-RGV250I'	POWERS RT + WAKO'S
25			阿部 徹郎	33	宮城	Y-TZR250SPR	ME & あべスピ with PJ1
26			渡部 茂	29	福島	Y-TZR250SP	
27			中鉢 洋一	31	宮城	H-NSR250RSP	チーム スペース1
28			板橋 安紀	25	青森	H-NSR250	★Team FOX★
29			小野寺 剛	24	静岡	S-RGV I' 250SP	浜松チームタイタン!
30			小川 幸光	25	埼玉	S-RGV250I'	スーパーBELLレーシング
31			三浦 崇志	23	宮城	Y-TZR250SPR	SP忠男レーシングチーム!

ST150

ゼッケン	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
1			大野 亮	13	茨城	H-NSR150	RTミズシマ☆チャウチャウ
2			丹野 秀一	28	東京	H-NSR150	レーシング チーム ハニービー
3			高倉 純一	25	埼玉	H-NSR150	クルーズレーシングチーム
4			坪田 健一	27	埼玉	H-NSR150	
5			松浦 利彦	27	埼玉	H-NSR150	チームゼクセルイサミヤ
6			布施 典孝	27	千葉	H-NSR150	WJRACING & HYPER2
7			岩田 明彦	24	埼玉	H-NSR150	Team LOOK & 火の玉RACING!!
8			斎藤 俊紀	28	茨城	H-NSR150	TEAM i-FACTORY
9			永田 隆寛	25	東京	H-NSR150	モトバム レーシングチーム ベベ
10			上田 徹	22	埼玉	H-NSR150	Jhaレーシング
24			長山 忠裕	26	宮城	H-NSR150	クルーズレーシングチーム

ROAD RACEを 楽しもう!

Road Race

ロードレース アラカルト

à la carte

ホンダ50周年

いよいよホンダの50周年イヤーが幕を開けた。というわけで、GPチームはもちろん、全日本のホンダ・ワークス系マシンには、写真の記念ステッカーが貼られているので注目してほしい。ちなみに、世界グランプリも1949年に始まっていて、こちらも50周年イヤー。



オイル・バトル勃発

今年から、ヤマハ・ワークス250ccクラスの中野真矢、関口太郎の二人をフルサポートすることになったのがBP (ペトロルブ・インターナショナル)。中野はヤマハ・ワークスYZR250を、関口は市販TZ250を駆るが、これでカストロールのフルサポートを受けるホンダのディフェンディング・チャンピオン加藤大治郎と、スポンサー面でも真向勝負となった。そしてその初バトルとなった日本GPでは、加藤が優勝、中野は2位となり、まずは加藤に軍配が上がったが、全日本第1戦の予選では中野が逆襲のポールポジション、そして優勝。どうやらこの二人が中心となってシーズンが進んでいきそうだ。



Castrolがメインスポンサーのホンダ・加藤とBPから新たにサポートを受けるヤマハワークス

ヨシムラからはハマーこと浜口がエントリー

芹沢太麻樹がカワサキ・ワークスへ移籍したことから、不在となっていたヨシムラのシートだが、そこには今年、「ハマー」こと浜口俊之が座ることになった。

浜口は昨年、アメリカでレース修行していたが、ケガに泣かされ、満足なシーズンを送れないでいた。浜口がヨシムラで走るの、一昨年の鈴鹿8耐以来のこと。キレた時の速さは抜群なだけに、きっとレースをかき乱してくれるに違いないが、全日本第1戦ツインリンクもてぎの予選では、早くもフロントローを獲得

するなど、その片鱗を見せていた。

「まだ、走り込み不足だけど、手応えは掴めたんで、一つでも多くワークス勢を負かしたいですね」とハマー。



第2次タバコ・ウォーズ

今年から、ホンダ・ワークスのスーパーバイク・クラスをフルサポートすることになったのが、昨年までスズキ・ワークスとジョイントしていたラッキーストライクだ。このラッキーストライクは以前、鈴鹿8耐においてスポットでカワサキ・ワークスとジョイントしたことがあるが、全日本でスズキ以外のワークスをサポートするのは今年が初めて。マシンのカラーリングも、これまでの流れとは一新されており、赤がベース色になってる。

さて、このラッキーストライクのリニューアル参戦によって、全日本スーパーバイク・クラスはマールポロ・ヤマハvsラッキーストライク・ホンダへと移行、第2次タバコ・ウォーズの幕開けとなった。

ラッキーストライクがサポートするホンダワークスのトランスポーター (左) と昨年同様MarlboroがサポートするヤマハYZF750



テクニカルスポーツのAC27M

コンストラクターズ250マシンに注目

今年の全日本250ccクラスには、2台の注目マシンが登場する。その1台は、コンストラクターの西の雄「テクニカルスポーツ」が開発・販売するAC27M。そしてもう1台は、コンストラクターの東の雄「エンデュランス」が開発・販売するNER250がそれだ。

ライダーは、AC27Mにまたがるのが今年で全日本GP250ccクラス参戦6年目を迎えるベテラン野田弘樹 (28歳)。対するNER250にまたがるのは、ニューカマー新地雄太 (20)。コンストラクターズ対決にも注目してほしい。



エンデュランスのNER250

浅井一郎

ICHIRO ASAI

DUCATI916

チーム ファンデーション

昭和48年10月15日生まれ24歳。

千葉県出身だが、小学校1年生から仙台で暮らしている。

現在も泉区在住。

92年 初レース。

93年 森のくまさんチーム所属。

SUGO選手権チャンピオン。

94年 スーパーカップランキング6位。

95年 レーシングショップItaと出会う。

96年 全日本250 ランキング20位。

97年 全日本250 ランキング19位。

98年 チームファンデーションから
全日本スーパーバイク参戦。



SUGOをホームグラウンドとして活躍して来た浅井選手は、'97年のスーパーバイク世界選手権SUGO大会で、ドゥカティを駆った。その時の走りが認められ、名門チームファンデーション入りを果たした。

「千葉で生まれたけど、小学校1年生の時から仙台なので、自分の故郷は仙台のような気がしています。18歳から本格的にレースを初めて、森のくまさんでお世話になりました。

A級に上がってからは、ツナギを作ったことをきっかけに、レーシングショップItaに入れてもらいました。監督の板橋さんは「オートバイに乗るのに必要なバネがある。走りが素直でいい」と気に入ってくれて、本当に良くしてもらいました。ここで、過ごした3年間は、本当に勉強になったと思っています。

思い出すのは、悔しかったレースばかりです。'95年の鈴鹿の雨で5位争いをしていたのに転倒してしまったこと。ワークス勢とバトルが出来たから、つい欲を出してしまって、せっかくの5位をフィにしまった。'97年の筑波でも7位を走っていたのにブレーキトラブルで転倒してしまっ

「何度も挫けそうになっただけど、諦めず走りつづけて良かつたと思う」

たこと。プライベートライダーにとって、一桁入賞は大きな目標だから、残念で、すごく悔しかった。

今年からは、一桁入賞が目標ではなく、もっと上位でチェッカーを受けることが目標になります。まだまだ、バイクに慣れたとは言えないので、これからが勝負です。

これまで、何度も挫けそうな時があったけど、やり続けていればいいこともある。レースを止めようと思っている人がいるなら、頑張っけて続けて欲しい、諦めないで、頑張れば、いいことがあるかも知れない。僕のように……。

SUGOは、いつも張り切り過ぎて失敗しているの、今回は、気合を入れないように、リラックスして挑みます」

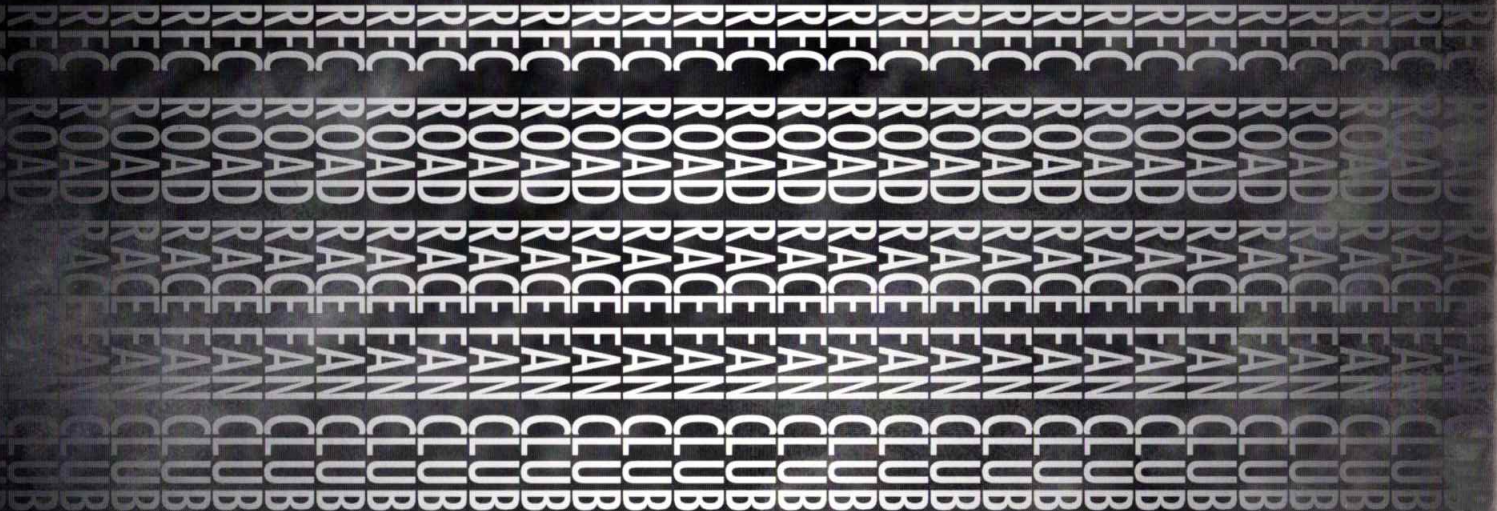
ドゥカティと、それを駆るライダーは常にワークスを脅かし、全日本スーパーバイクを盛り上げてきた。

そのドゥカティを駆るライダーとなった浅井選手は、全日本期待のルーキーとして注目を集めている。

1998
会員募集中

全日本ロードレース選手権公式ファンクラブ
RFCロードレースファンクラブ

RFC ROAD RACE FAN CLUB



全日本ロードレース選手権シリーズをファンが一体になって盛り上げながら、全日本ライダーとコミュニケーションしたり、サーキットライフも思いっきり楽しんでしまおうというのが、RFCロードレースファンクラブのコンセプト。MFJプロモーション実行委員会が運営主体となり、全日本ロード開催6サーキット、2輪メーカー4社、国際ライダーの統括団体であるRMA選手会、そしてライダーたちが一体となって盛り上げようとしているから、全日本ロードをもっと楽しむための特典が満載!!

RFC入会方法

●RFC年会費(入会金不要)

RFC特別会員/30,000円(限定200名)

RFC一般会員/4,000円

●申込方法

(1)RFC事務局へ電話・FAX・E-mail等で申込書を請求して下さい(料金不要)。申込書到着後、上記年会費の払込と申込書の送付とを同時に行なって下さい。年会費の払込を確認次第入会を受理し会員カードを発行します。

(2)全日本ロードレース選手権シリーズ全戦にて設置されるRFCロードレースファンクラブのブースでも入会手続きが可能です。この場合、入会したその場でカードの発行を行ないますので、入会と同時に特典が受けられます。

※特別会員は限定数が決まっています。お申し込みの際はRFC事務局にお問い合わせ下さい。

●申込・お問い合わせ先

RFC事務局(アバンテック ジャパン,INC.内)

名古屋市西区則武新町4-4-19 SG名古屋駅ビル5F 〒451-0051

TEL.052-565-0501 FAX.052-565-0502

E-mail / kentmild@po.ijnet.or.jp

全日本ロードの各サーキット 特設RFCブースで入会受付中!

RFCブースは、各サーキットのグラウンドスタンド入口付近にあります。

1998全日本ロードレース選手権シリーズ 大会スケジュール

4/12 第1戦 ツインリンクもてぎ	9/06 第6戦 鈴鹿サーキット
4/26 第2戦 スポーツランドSUGO	9/20 第7戦 筑波サーキット
5/17 第3戦 筑波サーキット	10/18 第8戦 TIサーキット英田
5/31 第4戦 鈴鹿サーキット	11/01 第9戦 スポーツランドSUGO
8/09 第5戦 CP MINÉサーキット	

RFC特別会員(限定200名)の特典

1998年全日本選手権シリーズ全戦共通パス発行

(パドックエリアまで入場がパス1枚でOK) ※世界選手権は無効

特別会員にのみ発行されるスペシャルメンバーズカードで、1998年全日本ロードレース選手権シリーズ全戦において、このカードを提示すれば、一部エリアを除いて観戦およびパドックの決められたエリアまでフリーパスとなります。

RFC一般会員の特典

1998年全日本ロードレース選手権シリーズで

観戦券が当日料金の50%OFF!!

パドックパスが当日料金の10%OFF!!

で購入可能!! ※当日料金からの割引です。

RFC特別会員・一般会員共通の特典

1998年全日本ロードレース選手権シリーズで

ピットウォークが無料参加!!

※全日本ロードレース選手権で開催するサーキットのみ

1998年世界選手権シリーズの各日本大会で

観戦券が当日料金の30%OFF!!

で購入可能!! ※当日料金からの割引です。

前売観戦券・パドックパス等割引!!

RFCその他の特典

1998年全日本ロードレース選手権シリーズで

1998年世界選手権シリーズの各日本大会で

イベント、宿泊パック等に優待割引!!

1998 世界選手権 シリーズ 日本大会	7月23~26日 鈴鹿サーキット 98FIM世界耐久選手権シリーズ第4戦「鈴鹿8時間耐久ロードレース」 10月3・4日 スポーツランドSUGO 98スーパーバイク世界選手権シリーズ第13戦「SUGOスーパーバイク世界選手権レース」
-------------------------------	--

※特典の内容については変更される場合がありますのでご了承ください。
※特典の内容の詳細については、RFC事務局までお問い合わせください。





John Kochinski

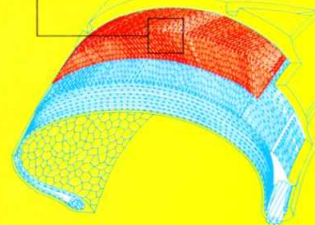
1968年生まれ。アメリカ出身。
AMAで活躍の後、87年全日本選手権にスポット参戦。
90年にはWGP250ccクラスにフルエントリー、
いきなりチャンピオンの座を獲得。
“天才児”ぶりをアピールした。
97年スーパーバイク世界選手権の覇者。

コシンスキー、45°の筋肉。

彼の圧倒的な勝利を支えた、
ミシュラン・レーシングスリック。
その独創的な「45°クロスプライベルト構造」を、
そのまま日本のSPレース用に投入したのが
ミシュランTX15/25 RACE3。
ライバルが嫉妬するほどの
ラップタイムをたたき出す。

45° Cross-ply Belt

従来のラジアルカーカスと0°ジョイントレスベルトの上に巻いた、2枚の「45°クロスプライベルト」。この新構造によって横力剛性が格段に向上、旋回性、コーナリング中のグリップ力がアップ。より速いアクセルオープンを約束する。



HI-SPORT radial
**TX15/25
RACE3**



MICHELIN

もっと先へ。あなたとともに。

<http://www.michelin.co.jp/>



COURSE

観戦ガイド

ベストポイントで観戦に臨む！

'98 Sugo Race Queen



茂泉 愛 (21歳)
AI MOIZUMI

■身長：166cm
■B81-W58-H86
■趣味：テニス・スケート
■出身地：宮城県



水庭 由香 (21歳)
YUKA MIZUNIWA

■身長：165cm
■B80-W60-H88
■趣味：水泳
■出身地：福島県



深谷 由美 (23歳)
YUMI FUKAYA

■身長：167cm
■B86-W60-H88
■趣味：旅行・ゴルフ
■出身地：福島県



1 シケインスタンド

低速コーナーが組み合わされているため、ブロックライン、タイムを出すライン、パッシングラインなど、様々な走行ラインがある。それゆえ、最終ラップのここで、最後の最後に緊張感あふれるドラマが展開されてきた。またシケイン入り口は、SPアウトコーナーを立ち上がり、110という高速コーナリングをし、マシンを完全に起こせない状態でブレーキングしながら、このシケインへのアプローチとなる。ここも非常に繊細なブレーキングが要求されるポイントだ。

2 SPスタンド

レインボーコーナーを立ち上がると、下りながらのバックストレッチに入る。ここが、コース中最もスピードの出るポイントだ。しかもその先が、40Rで回りこんでいる馬の背コーナーへと続いている。下りながらのフルブレーキングとなるため、フロントタイヤのコントロールが非常に難しくなる。それだけに、ブレーキング競争によるパッシングポイントとなる。

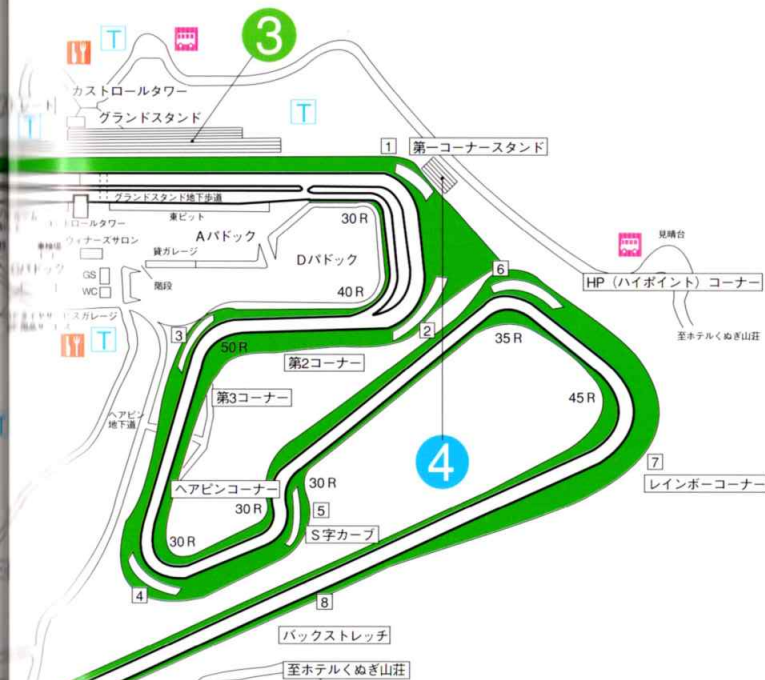
3 グランドスタンド

ここからは、日本国内のサーキットでは珍しい10%という急な登り勾配を全力で駆け上がってくるマシンを見ることができる。登り勾配を一気に駆け上がり、スリップストリームから抜け出し、1コーナーへのアプローチで前のマシンを抜くというパッシングポイントでもある。今回もパッシングシーンが見られるか。

GUIDE

数々のインターナショナル格式のレースを開催する、スポーツランドSUGO。コース全長3,737.5m、18のコーナと2つのストレートで構成される。

特徴としては、高低差が69.83mもあり、しかもその中にコーナーがレイアウトされているため、非常に繊細なマシンコントロールが要求されるダイナミックかつテクニカルなコースだ。



コース概要

形状 / 現状	
全長 / 3,737.50m	(3,704.256m / シケイン部を除く)
最大直線長 / 704.50m	
最小曲線半径 / 20m	
走行路幅員 / 10.0~12.5m	
最大縦断勾配 / 10.0%	
最大横断勾配 / 10.0%	
最大標高差 / 69.83m	

- T = トイレ
- P = 駐車場
- 無料バス停留所
- 食事

4 第一コーナースタンド

このスタンドは、1コーナーへのアプローチから2コーナー立ち上がり、そしてハイポイントコーナーまでを見ることが出来る。1コーナーは30Rの右ターンで、ほぼ直角に曲っている。さらに次の2コーナーがまた40Rのほぼ90度ターンなので、1コーナーを立ち上がったからといって、すぐにアクセルを全開にするわけにはいかない。2コーナーの走行ラインを考えた上で、1コーナーのアプローチをしなければならないのだ。そのあたりの走りをぜひ、チェックしたい。

5 イベント広場

H・A・R・T、JAJAUMA CLUB、KAZE、Y.E.S.S.、カストロールの各メーカーのPRブースが、イベント広場に集結！ユーザーズクラブのアトラクション・ゲーム大会など楽しいイベントがてんこもり！レース観戦を2倍、3倍に楽しむなら、ぜひPRブースへ。

1998 SUGO RACE CALENDAR

開催日	大会名
RACING COURSE 2輪	
4/25(土)~26(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦
5/10(日)	SUGOロードレース選手権第3戦
7/5(日)	SUGOロードレース選手権第4戦
7/19(日)	SUGO Summer Sound Festival '98
8/23(日)	SUGOロードレース選手権第5戦
9/13(日)	SUGOロードレース選手権第6戦
10/3(土)~4(日)	SUGOスーパーバイク世界選手権レース
10/11(日)	SUGOロードレース選手権第7戦
10/31(土)~11/1(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦MFJグランプリ
11/15(日)	オープン耐久ロードレース
11/22(日)	SUGO Final Sound Festival '98

RACING COURSE 4輪	
5/23(土)~24(日)	全日本ツーリングカー選手権第3・4戦
8/1(土)~2(日)	フォーミュラ・ニッポン第5戦 (FN・F3)
8/30(日)	'98EVエコラン
9/27(日)	ビクトリーカップレース第3戦
10/24(土)~25(日)	'98全日本GT選手権第7戦

KART COURSE	
4/29(日)	SUGOジムカーナ TRAMPIO CUP
5/10(日)	全日本オールスタージムカーナ
5/31(日)	SLカートレース第3戦
6/14(日)	ミニバイクレース第2戦
6/28(日)	地方カート東北地域第3戦
7/12(日)	全日本カート選手権東地域第4戦
7/20(日)	JAF cup ジュニアカート
7/26(日)	SUGOジムカーナ
8/9(日)	SL耐久カートレース
8/14(祝)	ナイタージムカーナ
9/15(日)	SUGOジムカーナ
9/20(日)	SLカートレース第5戦
9/23(祝)	ミニバイクレース第3戦
10/18(日)	JAPAN CUP カートレース
11/3(日)	ミニバイクレース
11/15(日)	地方カート東北地域第6戦
11/22(日)	SUGOジムカーナ
12/6(日)	'98 SUGOウインター耐久カートレース

MOTOCROSS COURSE	
5/17(日)	YESSチャレンジエンデューロレース第2戦
5/24(日)	全日本ATVレース
6/7(日)	全日本モトクロス選手権第4戦
6/21(日)	宮城県モトクロス選手権第1戦
6/28(日)	YESSチャレンジエンデューロレース第3戦
7/12(日)	宮城県モトクロス選手権第2戦
8/23(日)	宮城県モトクロス選手権第3戦
9/6(日)	全日本モトクロス選手権第7戦
12/6(日)	YESSチャレンジエンデューロレースGP

レース以外の情報も満載の

SUGO HOME PAGE

URL: <http://www.sportsland-sugo.co.jp>

SUGO インフォメーション

インターナショナルサーキットが君を待っている。

SUGOでは「もっと気軽にサーキットを体験したい。」という皆様の声にお応えて、「ファミリー走行会員」を募集しています。2輪、4輪のビッグイベントが開催されるSUGO国際サーキットを、あなたの愛車で思う存分走ってみませんか？

ファミリー走行会員料金(税別)

- 年会費 10,000円(2輪・4輪共、98年度中有効)
(入会金2,000円+年会費8,000円)

- ファミリー走行料金(保険料込)

	2輪(30分)	4輪(30分)
会員	1,500円	2,000円
ビジター	3,000円	4,000円

※ビジター料金は、入園料込。

- ファミリー走行会員特典

- ビッグイベントご招待券1枚進呈。(5,000円相当)
- 入園料無料。(特別イベント時は入園料20%割引)
- ファミリー走行料特別割引。(50%割引)

- ファミリー走行の資格

走行に使用する車両の当該運転免許証を所有していること。

- 参加できる車両

2輪、4輪共ナンバー付の車両。ただし、違法改造車は不可。

※2輪は、ヘルメット着用が義務づけられます。

- ファミリー走行について

ファミリー走行は、下記の日程で開催されます。時間帯は、日程によって異なりますので、必ず事前にご確認ください。走行日当日は、SUGO第2ゲートより入場しコントロールタワーのSSCM事務局で受付をしてください。走行の1時間前より受付を行っています。

※走行はインストラクターの先導により実施されます。

- '98ファミリー走行会日程

5月	1日(金)	2日(土)	5日(祝)	14日(木)	15日(金)
	29日(金)	30日(土)	31日(日)		
6月	5日(金)	12日(金)	13日(土)	19日(金)	20日(土)
	26日(金)	27日(土)	28日(日)		
7月	10日(金)	11日(土)	12日(日)	24日(金)	25日(土)
	26日(日)				

- お申込方法

所定の申込用紙に必要事項を全て記入し、顔写真2枚(3×2.5cm)、年会費(10,000円)を添えて現金書留でお申込下さい。

または、直接スポーツランドSUGOへ上記をご持参ください。

お問い合わせ・お申込は

SUGOスポーツクラブ事務局

〒989-1394 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
TEL0224(83)3127 FAX0224(83)3697

お得な「ファミリー走行会員」をヘルパー・メカニックの方もぜひご利用下さい。

“SUGO fc カード”会員募集中!

入会金等一切不要!
しかも
カードは即時発行!

簡単なアンケートにお答え頂くだけで、即会員となれます。

会員になるとSUGOの施設利用金額が5%割引に!

しかも今年1年間ずっと有効! こんなお得を見逃すな!!

(現金でのお支払い時のみ有効、一部商品を除きます。)



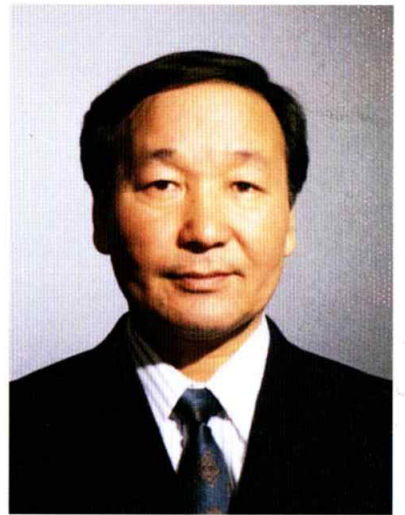
お申し込み・お問い合わせはお気軽に
お近くのSUGOスタッフまで!!



SPOTLIGHT

大会審査委員
レーシングショップita

板橋 康行



競技監督歴20年のキャリアを誇り、“レーシングショップita”オーナーとして、30名程のチーム員を抱え、レースをする若者を育てている。また、ツーリングチームもある。マシンチューニングショップとして絶大な信頼を集めている。また、オリジナルウェアも好評を得ている。

若かりし頃は、全財産をなげうって、イギリスの6DAYトライアルに挑戦したこともある。今年は10年振りにイーハトーブに参加予定。

「オフィシャルの仕事の素晴らしさを、毎レース感じています。ひとつのレースで動くオフィシャルの人数は、予選・決勝の2日間で200~300人。その人たちは競技が安全かつ公平に行われるために集まります。朝のミーティングひとつで、その人数の人間がまとまって動くほとんどが、ボランティアの人間で、アマチュアにも係わらず、パーフェクトなレースにしようという思いがひとつになるわけです。その統率力、信頼の強さに、毎回感動してます。

全日本クラスになると、マシンひとつにしても高額になり、全体的には何百億という金額が動くものになります。メーカーやライダーの思いを考えると、オフィシャルが公正な判断をして、しっかりと、レースを成り立たせて行くことが大切だと思います。

今でも、レース前には手に汗をかきます。どんなに、サーキットに通っても、熱くなります。その高揚した気持ちは、オフィシャルも、ライダーもチームの人たちも、みんな変わらないものだと思います。だから、いつまでもこの仕事は止められないですね」

SUGOサーキットライセンス講習会

主催 SUGOスポーツクラブ

スポーツランドSUGOのレーシングコースを走行するには、SUGOサーキットライセンス講習会を受講しSSCM(SUGO SPORTS CLUB MATE)会員になる事が条件となります。

SSCMライセンス及びMFJライセンスをこれから取得される方は、下記の日程に開催される“'98SUGOサーキットライセンス講習会”を受講してください。

受講申込方法

- (1) 開催日の1ヵ月前から電話にて予約を受付ます。
TEL0224-83-3127(受付時間 10:00~16:00)
SUGOスポーツクラブ「サーキットライセンス講習会」係
※定員100名(尚、定員になり次第締め切ります。)
- (2) 下記の講習会に必要なものを準備してください。
 - ①SSCM入会申込書
 - ②未成年の場合は承諾書(SSCM入会申込書裏面)
 - ③写真2枚(2.5cm×3cm)
但し、MFJ競技ライセンスのない方は計4枚必要です。
 - ④受講料 33,000円(入会金・年会費・消費税込)
但し、MFJ競技ライセンスのない方は38,500円になります。
 - ⑤印鑑 ⑥筆記用具 ⑦運転免許証 ⑧健康保険証
 - ⑨'98MFJ競技ライセンス
 - ⑩マシン(80c.c.以上、オンロードに限る)
 - ⑪実技走行できる服装(ヘルメット、皮ツナギ、グローブ、ブーツ)

(3) 受講申込先

〒989-1394 宮城県柴田郡村田町菅生
スポーツランドSUGO内「サーキットライセンス講習会」係
申込書(①~③)と受講料④をそえ、開催日の3日前まで所定の郵便振替又は、現金書留で送付(必着)下さい。
※⑤~⑪は、当日講習会へ忘れずに持参してください。

		タイムスケジュール			
		受付	座学	実技	終了
第3回	5月 28日(土)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:30~13:00	13:30
第4回	6月29日(日)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:30~13:00	13:30
第5回	7月12日(日)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:30~13:00	13:30
第6回	8月 8日(土)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:00~12:30	13:00
第7回	9月19日(土)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:30~13:00	13:30
第8回	10月10日(祝)	13:30~14:00	14:00~16:00	17:00~17:30	18:00
第9回	11月21日(土)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:30~13:00	13:30

※開催日よりタイムスケジュールが違いますので必ずご確認ください。
※SUGOロードレース選手権時にレースエントリー対象者に講習会を開催しますので、詳しくは事務局にお問い合わせください。
※'98MFJ競技ライセンス国際ライセンス所持者は、申請のみでSSCMに入会できますのでSSCM事務局にお問い合わせください。
※コーススケジュールにより変更あるいは中止になる場合もございます。

**詳しくは、SSCM事務局に
お問い合わせください**

レース運営にはかせない SUGO RACE OFFICIAL

■車検委員

レースが安全かつ公平に争われるため、競技規則の基準に合うマシンかどうかの確認をする仕事。レース後は上位6位までのマシンのエンジン内部まで入念にチェック。メカ好きにとっては、たまらない仕事だ。



■管制委員

競技監督の指示に従い、無線や電話などを使って、各ポストやオフィシャル全員に伝達する仕事。競技監督が、競技が安全に進行することが出来ないと判断した場合、赤旗の提示をすみやかに伝えレースを中断させたりもする。



■計時委員

レースはコンマ1秒を争われる競技。レースに参加しているライダーのタイム、通過順位を記録する仕事。また、どこで、誰がリタイヤしたかどうかにもチェックする。コンピューター処理しているが、機械がトラブルを起こした時のために、今でも、人間の手で測定が行われることもある。



■進行・ピット・パドック委員

レースがすみやかに進むために、ピットでマシンの出入りを見ながら、レギュレーションに違反した行為がないかなどをチェックする。同様にパドックでも、救急車の出入りがさまたげられていないかなどの安全に気を配る。



募集



スポーツランドSUGOでは、
レースオフィシャルを募集しています。
ご希望の際は、

SUGOスポーツクラブ

までご連絡ください。詳しくは、
TEL 0224-83-3127

担当 森、新田

RAPIDE L

HYPER RIB

【ハイパーリブ】

サイドアウトから後方へと流れるハイパーリブ構造は、ヘルメット後部下方の剛性を強化。大きな衝撃を受ける可能性が高いという現実のデータをもとに、現役のライダーでもあるアライが選択した新構造である。



戦士の称号—レジオン
[Legion]

誕生

RAPIDE



●機種名:ラバイド-L ●帽体:cLc(コンプレックス・ラミネート・コンストラクション) ●規格:スネル1995 JIS C種 ●内装:ハイフィッティング内装(頬パッド調節可能-特許出願中) ●シールド:スーパーアドシス標準装備(特許出願中) ●色:白、黒、ブライツシルバー、チタングレー、キャンディレッド ●サイズ:(53-54) (55-56) (57-58) (59-60) (61-62)

¥36,000

※価格に消費税は含まれていません。印刷のため、実物とは若干異なって見える場合があります。店頭にてご確認ください。●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください。直通 TEL (048) 645-3661 株式会社 アライヘルメット 〒330-0841 埼玉県大宮市東町2-12 TEL(048)641-3825~7



MOUTH SLIT

【マウススリット】

新型帽体の特徴である力強く迫力を感じさせるマウススリットの入ったチンバー部分。このフォルムは、アライの開発テーマである「安全性へのあくなき追求」より導かれた新形状として、定評あるアライヘルメットの剛性をさらに高めている。



ハイフィッティング内装



DDL DUCT

【DDLダクト】

DDL(ダブルデルタ)ダクトは、F1用ヘルメットに装着されているスポイラーと同様の整流効果を発揮する。エアアウトのデルタダクトを左右一体化したフォルムは、走行中の空気抵抗やリフト感による疲労を軽減させてくれる。

【ICダクト】

エアイン用の直径10mmのドレンホールを持つIC(インダクションコントロール)ダクトは、DDLダクト同様に、グローブをつけたままでも開閉が簡単にできる。より強力なクールダウンのための複合ベンチレーションシステムである。

IC DUCT

Arai
アライヘルメット
変わります。

未成年者の喫煙は禁じられています
あなたの健康を損なうおそれがありますので
吸いすぎに注意しましょう



AN AMERICAN ORIGINAL.

ソフトパック

タール11mg/ニコチン0.8mg